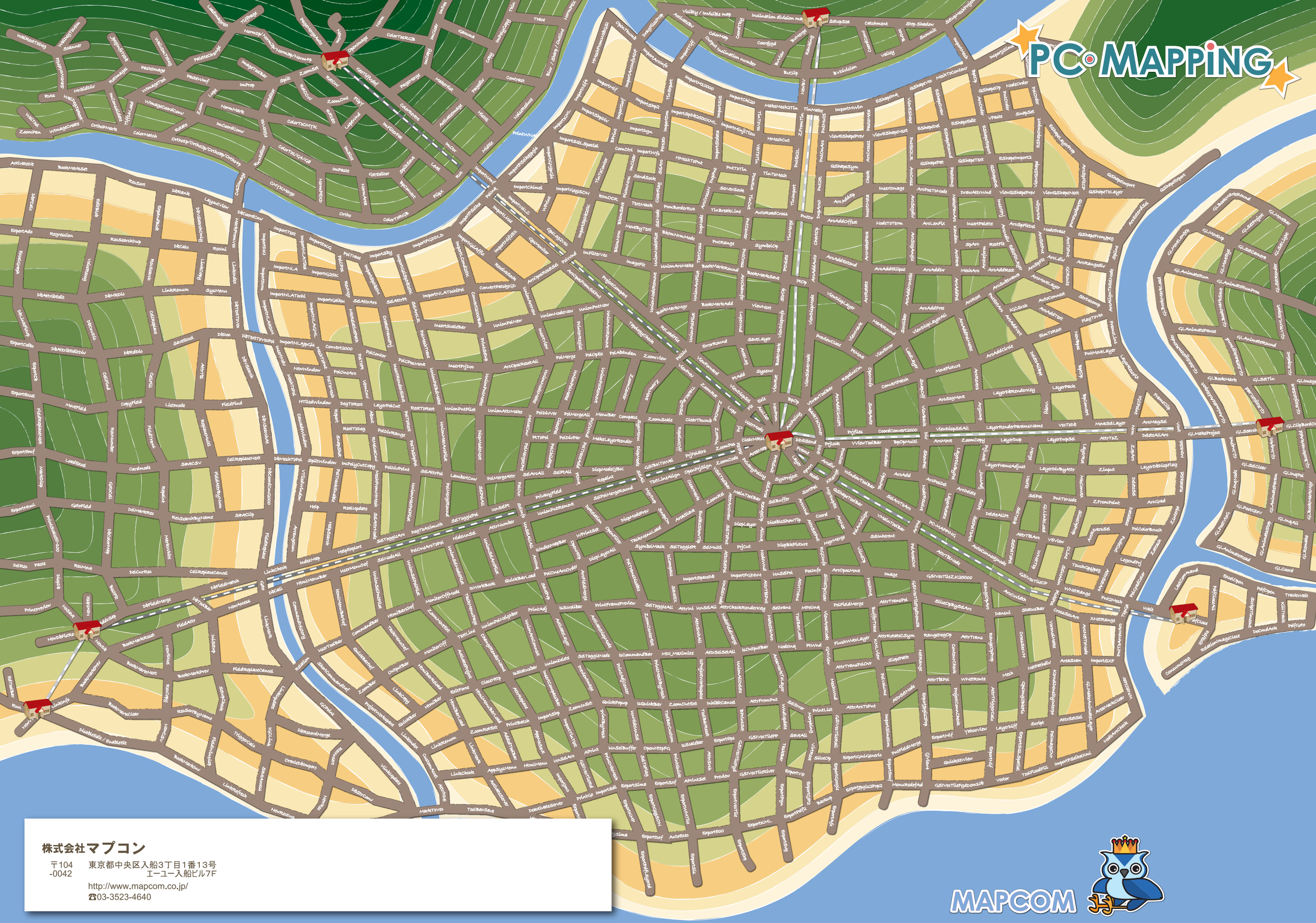


株式会社マプコン

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目1番13号
エーユー入船ビル7F

http://www.mapcom.co.jp/

☎03-3523-4640

Invitation to PC-MAPPING World

※Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、MS-Office、MS-Access、MS-Excelは、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本及びその他の国における登録商標または商標です。
※PC-MAPPING、プレゼンテーションビューアパック、出簡調は、株式会社マプコンの登録商標です。
※その他記載されている会社名、製品名は各社の登録商標及び商標です。

PC-MAPPING

CONTENTS

ＵＡＶ飛行計画作成機能..... ３
２Ｄ/３Ｄオーバーレイビュー.. ４
３Ｄへの機能..... ５
作図..... ７
ベクター編集..... ９
解析..... １１
イメージ編集..... １６
システム..... １７
データベース..... １９
インポート..... ２１
エクスポート..... ２２
ＳＷＥ..... ２３
拡張ＰＶＰ..... ２３
出簡調..... ２４
ＢＳＳ..... ２４
全機能..... ２５

LINEUP

PC-MAPPING HT

標準的なマシンで動作する基本GISソフトです。 1ライセンスでデータ作成から解析、専用システム開発までをカバーします。

対応 OS	Windows 10 / 8.1 / 8 / 7
メモリ	2GB 以上推奨

PC-MAPPING HTx64

64ビットマシンでのご利用に適した HT をパワーアップさせるオプションです。

対応 OS	Windows 10 / 8.1 / 8 / 7
メモリ	4GB 以上推奨

PC-MAPPING SP

作成したデータを必要最低限の操作で利活用頂けるコンパクトなGISソフトです。

対応 OS	Windows 10 / 8.1 / 8 / 7
メモリ	2GB 以上推奨

PC-MAPPING SWE

PC-MAPPINGで生成したデータを Web で利用するための製品です。

サーバー（オンデマンド方式）		Windows Server2012 以降 ＋WEB サーバー（IIS）
サーバー（データ配信のみ）		Windows Server2012 以降 ＋WEB サーバー（IIS、Apache 等） Unix、Linux＋WEBサーバー（Apache 等）
クライアント	本体（対応 OS）	：Windows 10 / 8.1 / 8 / 7
	RAM	：2GB 以上（4GB 以上推奨）
	ディスプレイ	：1024×768 以上の表示
	その他	：マウス、キーボード
	※HTML5 をサポートしているブラウザーが必要です。	

PC-MAPPING AXDV

ActiveX でPC-MAPPINGを開発する製品です。

PC-MAPPING AXSP（標準版）

PC-MAPPING AXDV で開発したアプリケーションを実行するための製品です。

PC-MAPPING AXHT（高機能版）

PC-MAPPING AXDV で開発したアプリケーションを標準版より高機能で実行するための製品です。

対応 OS	Windows 10 / 8.1 / 8 / 7
メモリ	2GB 以上推奨

※これらは 32 ビット DLL で提供されます。 呼び出し側アプリも 32 ビットで構成されていることが必要です。

UAV 飛行計画作成機能

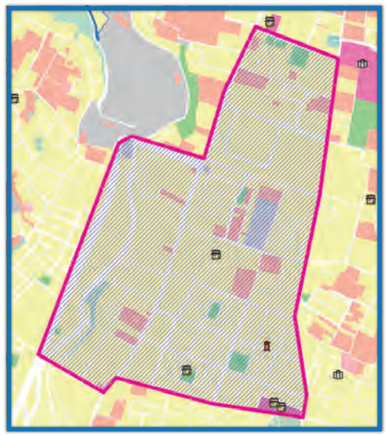
新機能

UAV を使った撮影が測量作業規定に盛り込まれ、本格的な利活用が見込まれますが、規定に準拠した飛行ルートを得るには精度の高い操縦技術が求められます。
PC-MAPPING では、指定したエリアと撮影高度、オーバーラップ率などから最適なルート設計を行う機能を提供します。

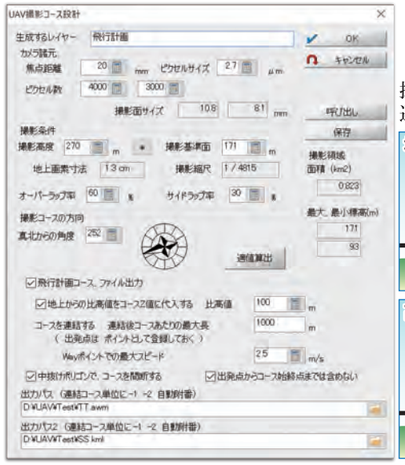
標高データを活用し、最適なオーバーラップ率の撮影コースを自動設計します。
撮影エリアは任意のポリゴンで指定し、撮影諸条件を設定することで、コース本数、撮影間隔を自動計算し、ルート図を作成します。

1 UAV 撮影コース計画

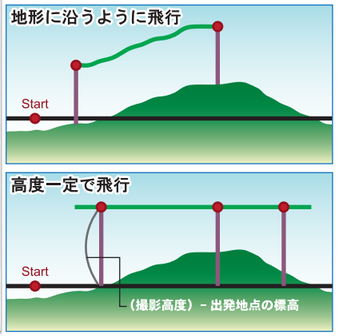
撮影領域をポリゴンを作成して指定します。



2 撮影諸条件設定

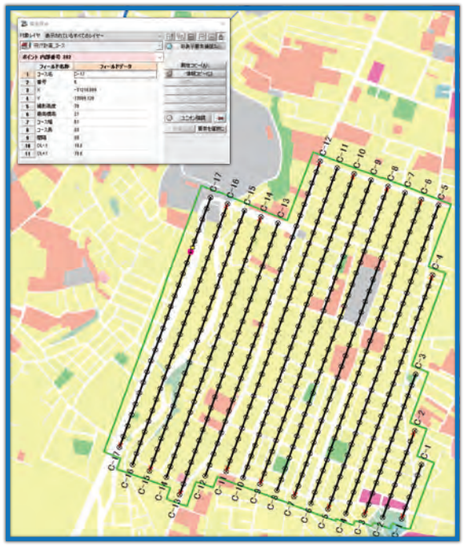


撮影の用途によって２つの飛行方法を選択できます。



3 コース作成（Way ポイント）

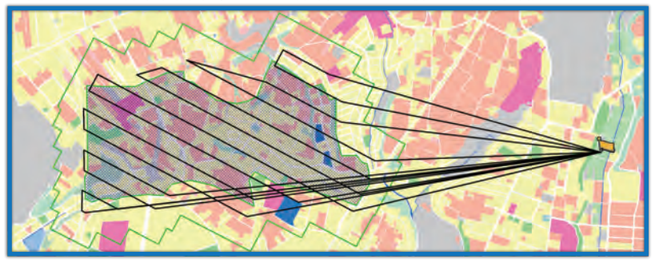
１つのコースは設定で指定した最大距離以内になるよう作成され、指定距離以上になった場合は、複数のコースに自動的に分割します。
また、作成した撮影コースには、コース長や撮影高度などの情報が付加されます。



4 コース設定応用

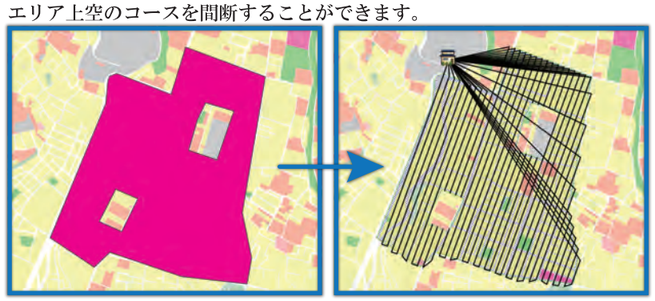
■出発地点から撮影コース作成

出発地点から撮影開始位置までの飛行コースも併せて作成可能です。



■撮影除外エリアの設定

住宅地等、撮影を除外したいエリアをあらかじめ設定しておくことで、指定エリア上空のコースを間断することができます。



GIS の機能をフルに発揮する

2D/3D オーバーレイビュー

PC-MAPPING で 3D モデルを利活用する機能を標準メニューで提供

新機能

BIM・CIM の普及に伴い流通される 3D データを PC-MAPPING で取り扱うための機能を搭載しました。
これにより、2D で構成されるベースマップと 3D モデルの共存を実現します。

点群データインポート

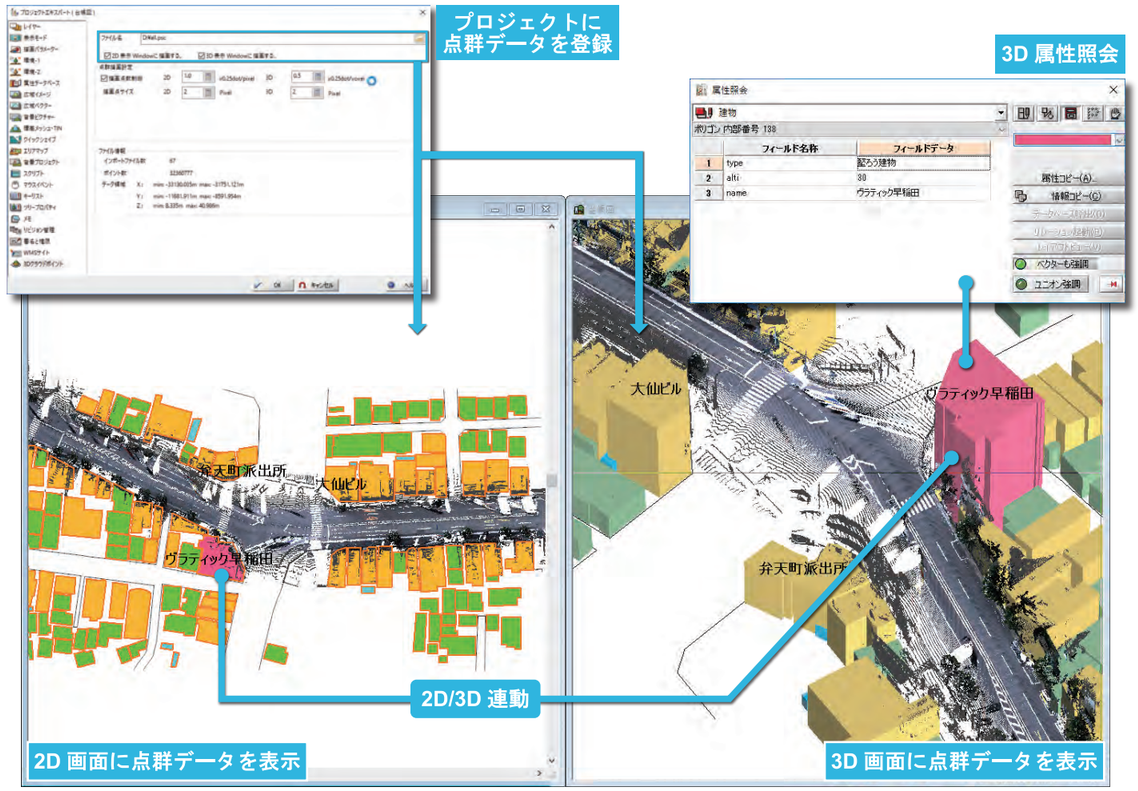
3D スキャナ等の成果で構成される点群データをインポートします。取り扱うデータ量に制限がない PC-MAPPING では、膨大な点群データをスムーズに処理できます。

2D データに 3D を「上載せ」

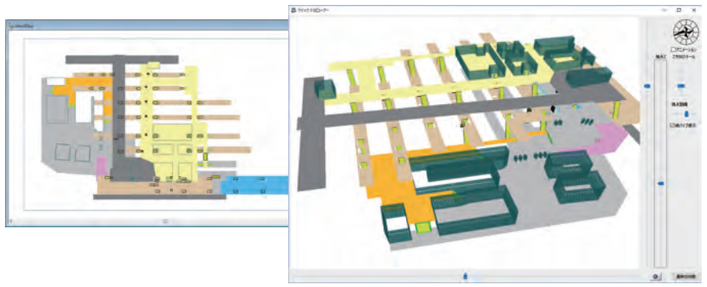
ベクター要素に高さ（Z 値）情報があれば、様々な 3D 表現を可能としています。従来までの 2D データに Z 値を付与する機能も用意しています。

2D-GIS を 3D-GIS に拡張するオーバーレイビュー

PC-MAPPING では、「絵で見る 3D」ではなく、GIS の 2D 機能を活かして 3D 世界を表現していきます。
3D 点群データがあれば、2D の背景にするだけでなく、3D の世界に既存の 2D データをはめ込み、属性検索・属性照会機能もそのまま使えます。



ベクトルアイテムの高さデータ（Z 値）を使った簡易ビュー機能



PC-MAPPING のメリット

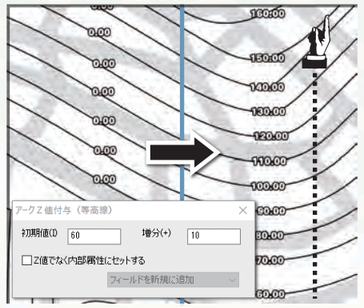
オーバーレイビュー機能は、プロジェクトデータと連携しており、図形が持つ属性情報も保持して表示を可能としています。
3D データだけを管理するのではなく、従来までの 2D データと合わせて一元管理を実現しています。

3Dへの機能

立体化するための機能、
立体化データへの機能を、
多種揃えています。

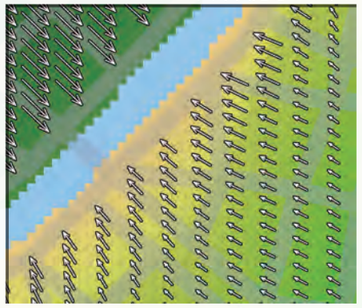
アーク Z 値付与（等高線）

図上で等高線を横断する擬似線を指定して、段階的に Z 値を付与します。



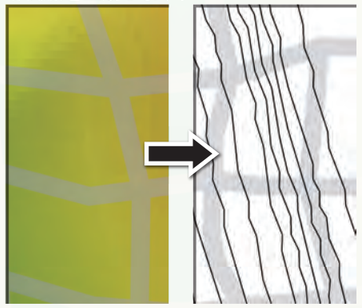
傾斜方向ベクトルレイヤー生成

傾斜度と方向を属性に持つポイントを生成し、ベクターシンボルで矢印表記をします。



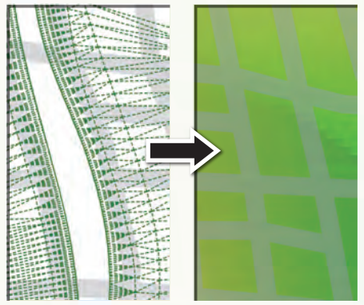
標高メッシュから等高線の生成

TIN を経由せず、標高メッシュから直接等高線を生成します。



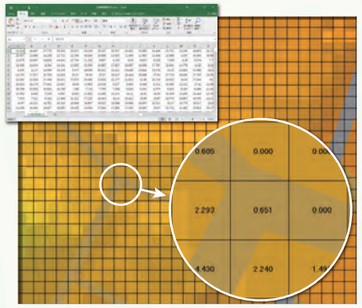
TIN レイヤーから標高メッシュ生成

TIN から数値地図標高スタイルデータ（*.nem）等を生成します。



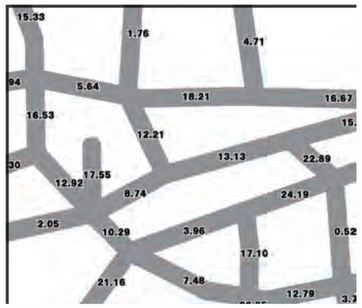
傾斜数値出力

標高メッシュから傾斜数値を求めて、テキスト形式で出力します。



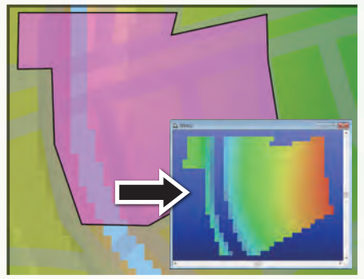
アーク勾配算出

アークの Z 値を参照して、勾配を算出します。



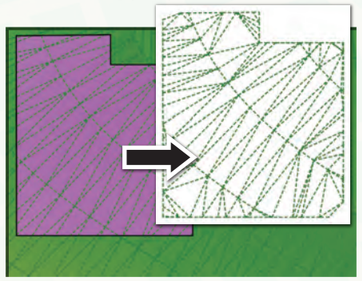
標高メッシュの領域切り出し

選択されたポリゴン領域に該当する標高メッシュを切り出して、新規に標高メッシュプロジェクトを生成します。



TIN 結合 / 切り取り

複数の TIN に対して合併（整合）処理を行えます。また、指定レイヤーのポリゴンで TIN を切り出せます。

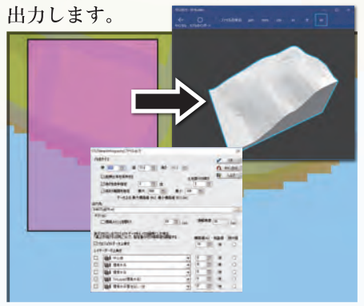


ブラウザー（WebGL）で 3D ビュー

現在の表示画面をブラウザー上で 3D ビューできるような HTML ファイルを出力して、デフォルトのブラウザーで表示します。

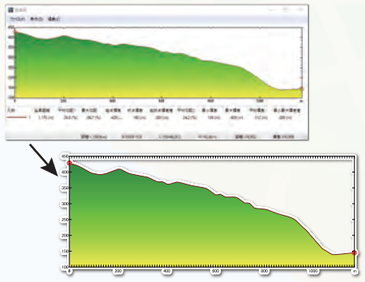
STL（Stereolithography）形式出力

標高メッシュと出力する領域の矩形ポリゴンを用いて、STL 形式の 3D データを出力します。



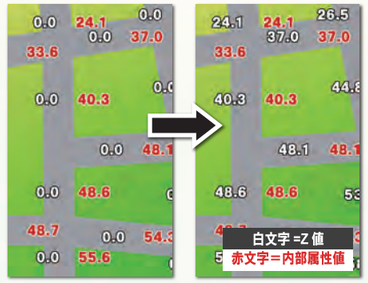
断面図出力

作成された「断面図」を拡張メタファイル(*.emf)、CSV・SIMA、レイヤーデータに変換します。



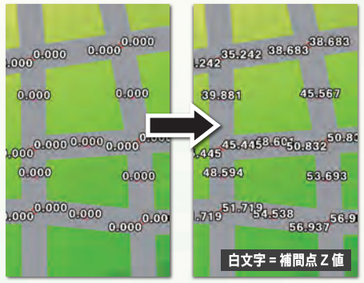
内部属性・Z 値転記

編集レイヤーのベクター内部属性から Z 値へ、Z 値からベクター内部属性へそれぞれ転記します。



TIN、標高メッシュからの Z 値付与

TIN レイヤーまたは標高メッシュの Z 値を指定したベクター要素の Z 値に付与します。



Z 値内挿補間

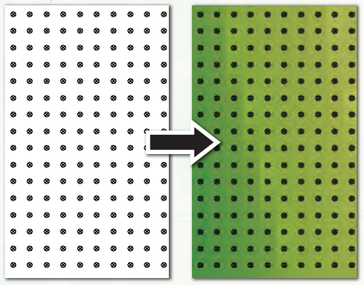
アークの各補間点の Z 値を、アーク両端のノードの Z 値から、その距離に応じて内挿近似処理をします。

個別 / 一括 Z 値付与

編集レイヤーのベクター要素に Z 値を付与します。

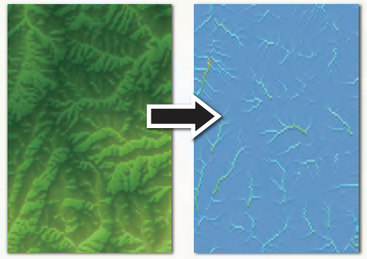
格子ポイントから標高メッシュの生成

格子状に並んだポイントの高さ情報(Z 値)から標高メッシュデータ（*.nem）を生成します。



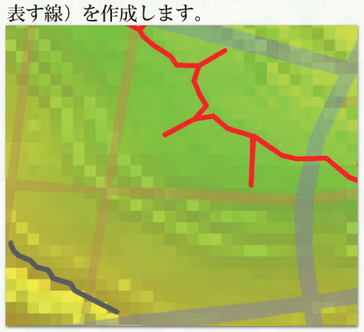
集水域

流入メッシュ数を算出します。斜面勾配は、3×3 メッシュの中心メッシュに対する最大標高差のある方向の勾配を算出します。



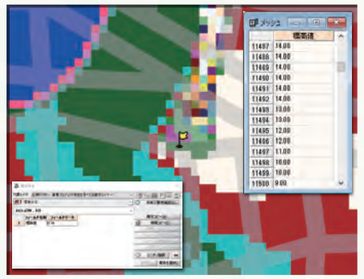
ブレークラインの生成

ブレークライン（地形の谷線、尾根線等を表す線）を作成します。



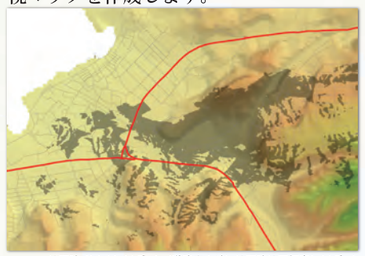
標高メッシュから変換

プロジェクトに登録されている標高メッシュを、新規レイヤーの内部属性メッシュとして登録します。



可視、不可視マップ（路線集成）

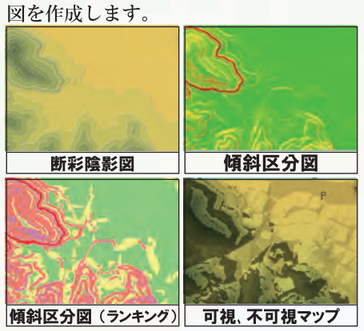
前景レイヤーのアーク（補間点）やノード、ポイント等から可視、不可視判定マップ処理を行い、それらを合成した可視、不可視マップを作成します。



地理院ベクトルタイルデータ（道路中心線）、地理院地図標高タイルデータ

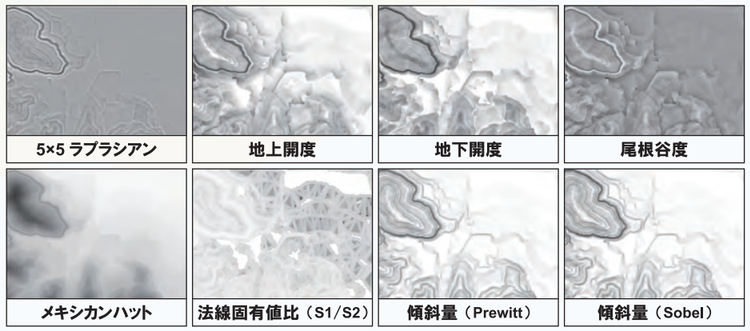
標高メッシュの利用

パラメーターを設定して様々な地図解析図を作成します。



フィルター・地形解析

現在の標高メッシュから以下の地形解析結果を、新たにメッシュで作成します。



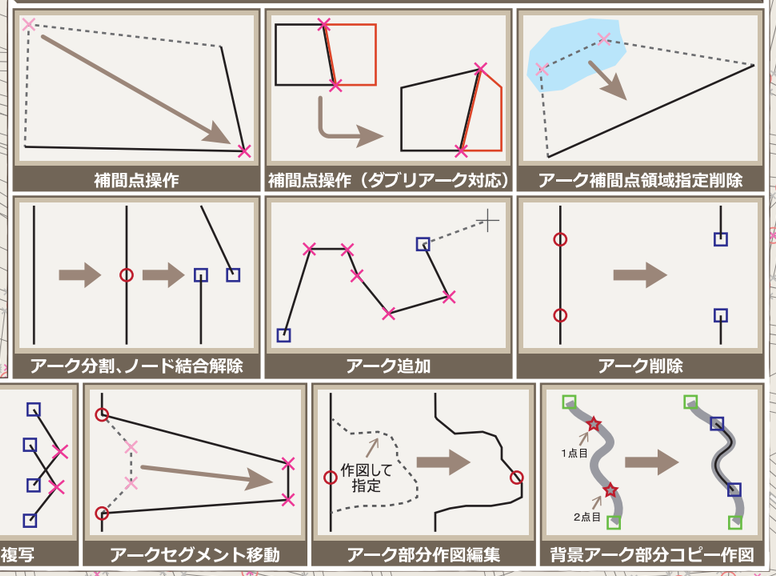
3D function

3D function

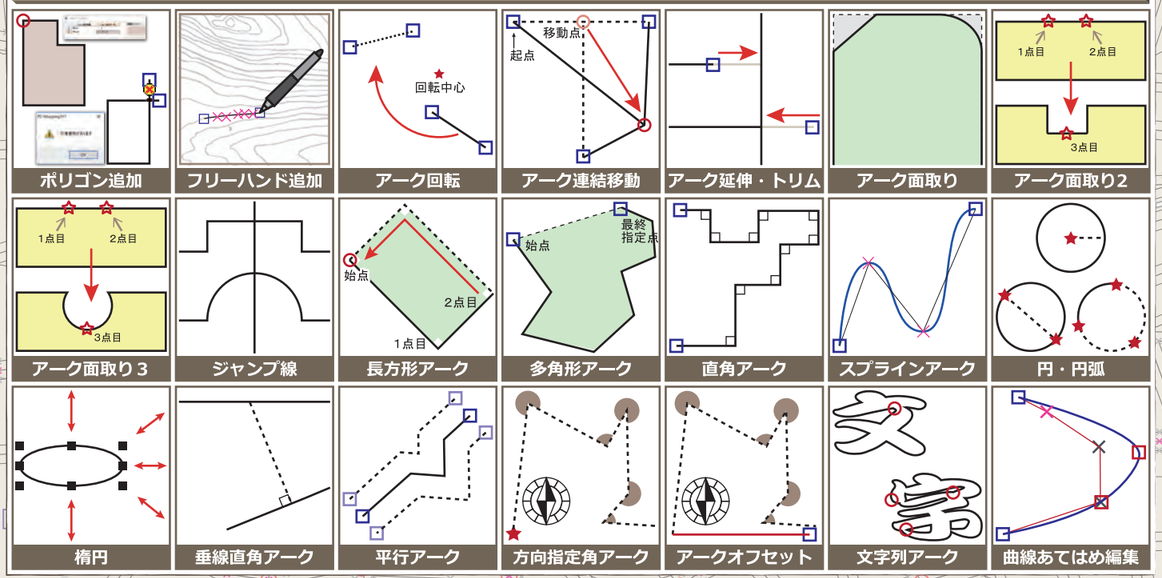
作図

地図に特化した
位相構造を持つベクターを
簡単な操作で作成できます。

作図



アーク作図・編集



クイックシェープ

プロジェクトに対して、ベクターデータに影響を与えない独自の図形やシンボルを追加して、位置をマークしたり文字を入力できます。
また、プロジェクトに登録したオリジナルのクイックシェープポイントも利用できます。

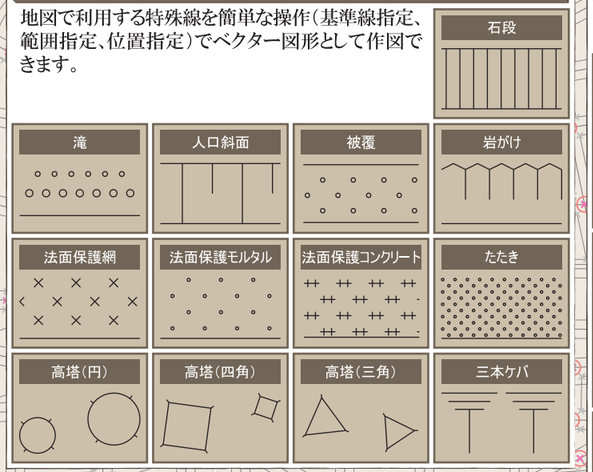
Eシェープ

クイックシェープにレイヤー構造を持たせたもので、レイヤー単位で制御できます。
通常のベクターデータとは独立してプロジェクトファイルに保存できますが、それとは別にEシェープの情報のみをXMLファイルにエクスポートし、再度別のプロジェクトにインポートして利用できます。

PC・MAPPING SPでは・・・
PC・MAPPING HTで作成したデータをそのまま利用して運用できる高機能ビューアーのSPは、本格的なデータ作成・編集機能はありませんが、簡易作図機能（クイックシェープとEシェープ）を実装しています。
ほかにもクイックバー等のカスタマイズ・解析やオートメーションインターフェイス（スクリプト）等の「既存PCMデータを運用」することを考慮したメニューを装備し、PC・MAPPING HTから加工することなく運用できます。

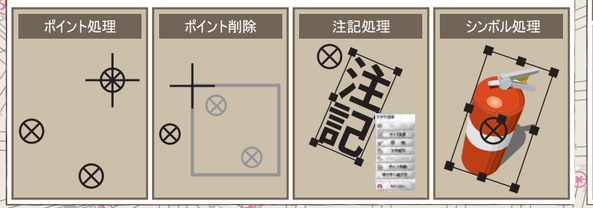
特殊線作図

地図で利用する特殊線を簡単な操作（基準線指定、範囲指定、位置指定）でベクター図形として作図できます。



ポイント処理

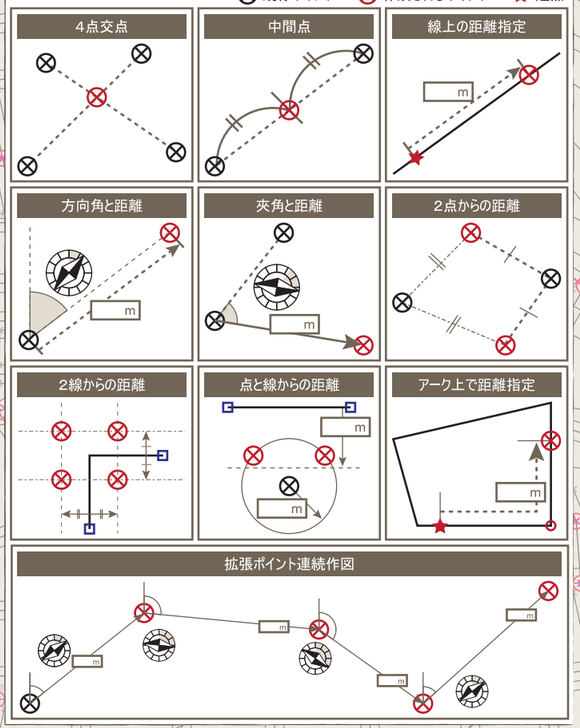
座標入力によりポイントを置いたり、インポートしたポイントデータに対し、編集・加工を行えます。



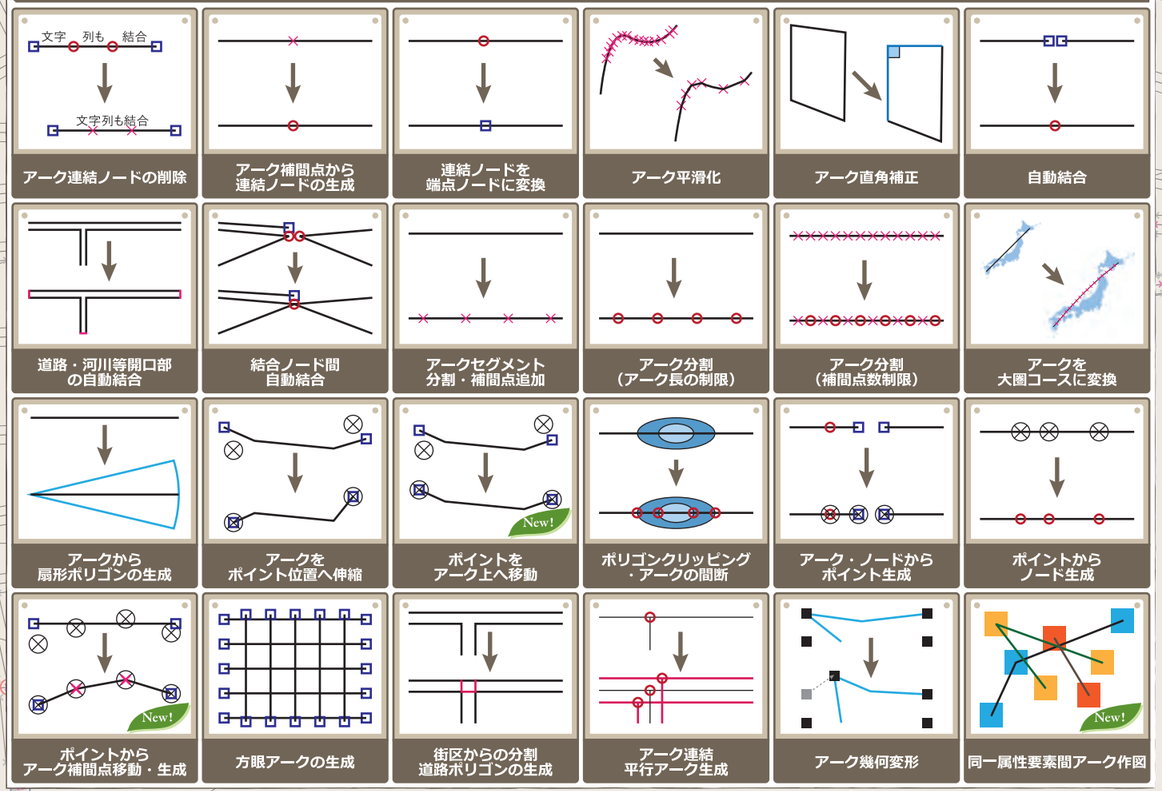
拡張ポイント作図

既存ポイントやアークから、指定方法により新たなポイントを作図します。

⊗ 既存ポイント　⊗ 作成されるポイント　★ 起点



既存アーク編集



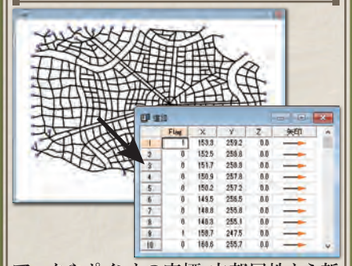
⊗ポイント　□端点　○結合点　×補間点

Drawing Vector Shapes

編集 ベクター編集

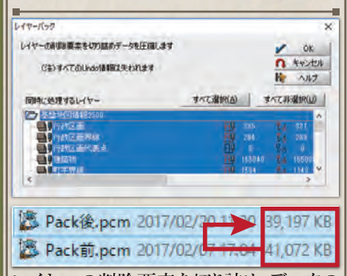
現在流通している
さまざまな地図データを
簡単に編集して利用できます。

ベクターデータの座標テキスト変換



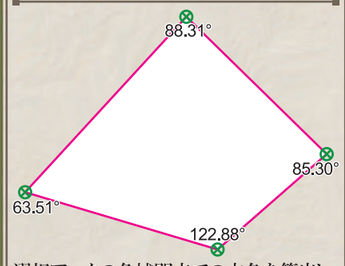
アークやポイントの座標、内部属性から新たに属性データベースを作成します。

レイヤーパック



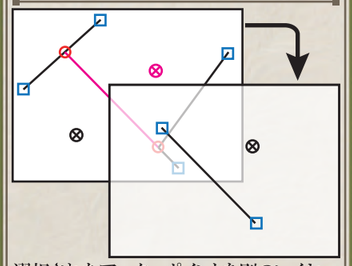
レイヤーの削除要素を切り詰め、データの圧縮を行います。

アーク・ポリゴンセグメント夾角算出 New



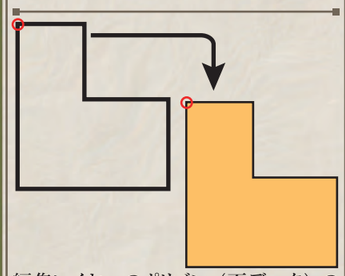
選択アークの各補間点での夾角を算出し、ポイント属性として転記します。

レイヤー間移動・コピー



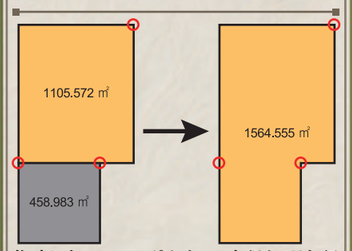
選択されたアーク・ポイントを別のレイヤーに移動またはコピーします。

ポリゴン生成



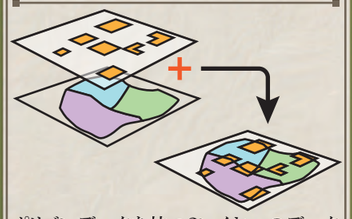
編集レイヤーのポリゴン（面データ）の追跡、生成を行います。

ポリゴン合併



指定した 2 つのポリゴンの合併処理を行います。 内部属性値の加算も同時に行えます。

ポリゴンオーバーレイ

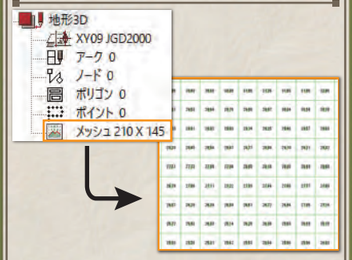


ポリゴンデータを持つ2レイヤーのデータを併合し、新規レイヤーを作成します。その際、ポリゴンが交差する箇所で分割され新しいポリゴンが生成されます。

ポリゴン等高線探索

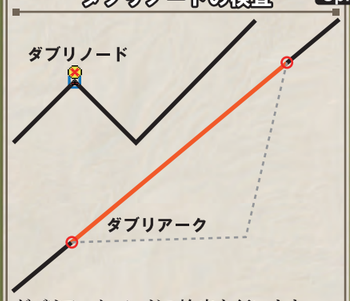
構造化ポリゴンで作成した等高線（等深線）の内部属性に、ポイントデータの Z 値を、指定した間隔と探索方向で付与します。

メッシュからポイント / ポリゴンへ変換



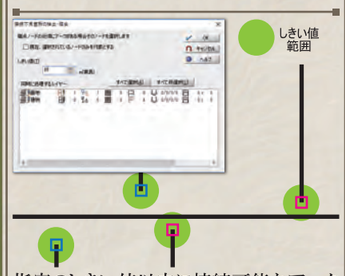
メッシュの中心点 / ポリゴンを生成します。元の属性も合わせて転記します。

ダブリアーク、ダブリノードの検査 Up!



ダブリアーク、ノードの検出を行います。

接続不良箇所の検出

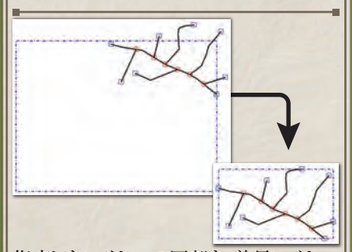


指定のしきい値以内に接続可能なアークがあるノードを選択状態にします。

正規化座標変換

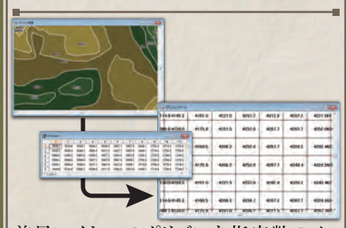
指定する基準点と変換方法に従い、ベクターデータを正規化処理（歪み補正）します。

図郭をデータ領域に変更



指定したレイヤーの図郭を、前景レイヤーもしくは全レイヤーのデータの存在範囲に変更します。

ポリゴン属性のメッシュ変換



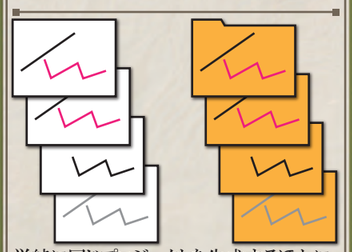
前景レイヤーのポリゴンを指定数のメッシュ DB に変換して、指定の内部属性データを転記します。 また、直接ファイルに書き出すことも可能です。

図法変換

ベクターデータの図法変換を行います。

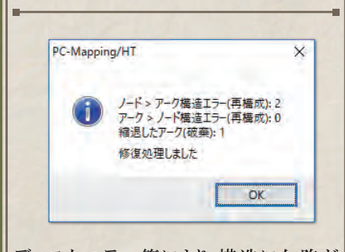
- ●経緯度座標↔UTM 座標
- ●経緯度座標↔直角座標
- ●経緯度座標↔メルカトル図法
- ●経緯度座標→ランベルト正角円錐図法
- ●経緯度座標→方位図法 *
  * 地球を球（Great Circle）として近似計算をします。
- ●測地成果 2000 対応変換
- ●直角座標系の「系」の変換
- ●地殻変動による座標・標高補正

プロジェクトの２重化



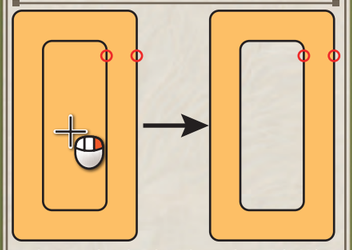
単純に同じプロジェクトを生成するほかに、コピーするレイヤー、データベースの条件を指定して複製します。

アーク・ノード構造検査



ディスクエラー等により、構造に欠陥が生じたデータを検査し、可能な限り修復します。

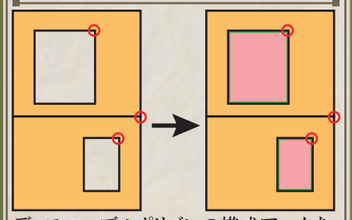
ポリゴンイネーブル / ディスエーブル設定



マウスでポリゴンをイネーブル（有効）/ディスエーブル（無効）にします。

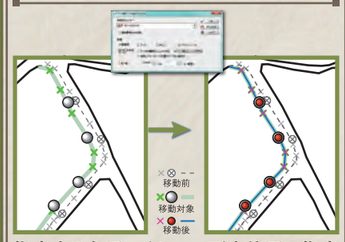
※ディスエーブル（無効）＝中抜けポリゴン

ディスエーブルポリゴンを別レイヤー転記



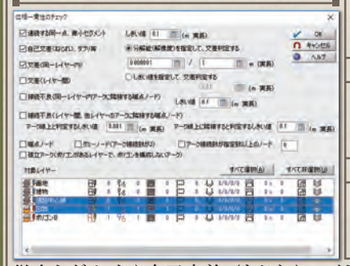
ディスエーブルポリゴンの構成アークを、同一特性レイヤーに転記し、転記したアークでポリゴン生成して、選択状態にします。

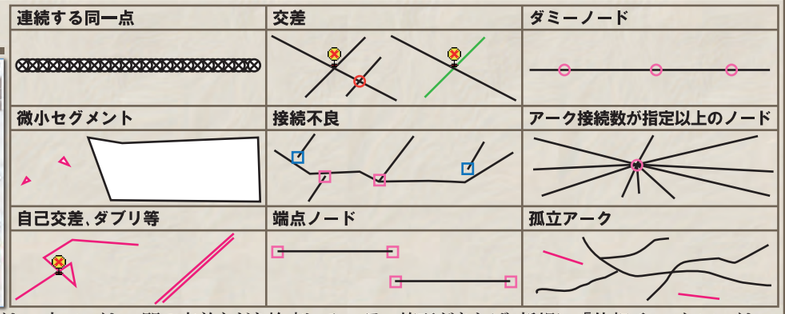
レイヤー間データ合わせこみ



指定する参照レイヤーの要素位置に指定しきい値以内にある前景レイヤーデータを合わせ込みます。

位相一貫性のチェック





微小セグメントや自己交差（ねじれ）、レイヤー内・レイヤー間の交差などを検査して、エラー箇所があれば、新規に「位相チェック」レイヤーを作成してエラー箇所にポイント生成し、その内部属性として、エラーとなったアークの情報を登録します。

Edit Vector Shape

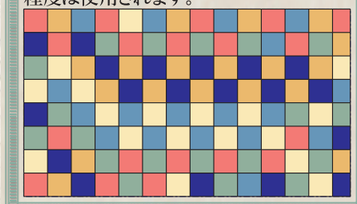
Edit Vector Shape

解析

構造化ベクターの
特徴を利用して、
多種多様な解析機能を
搭載しています。

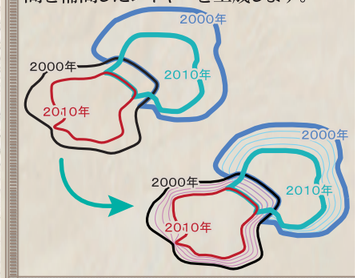
New ポリゴンランダムフィル（４色定理）

アークを共有する隣接ポリゴンが同色にならないように、自動で描画コードを振り分けます。 数学理論上 4 色あれば振り分け可能ですが、実装上最低でも５～６色程度は使用されます。



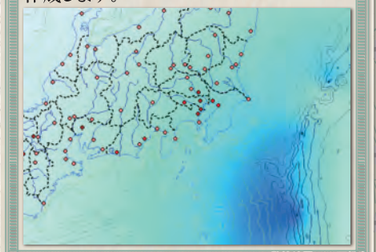
ベクターモーフィング

指定した始点レイヤーから終点レイヤー間を補間したレイヤーを生成します。



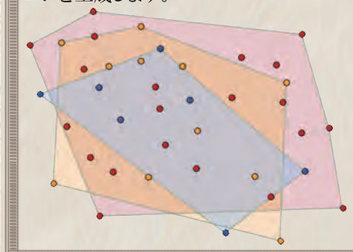
ランダムポイントからのメッシュ生成

3 点以上のポイントの持つ数値属性から、クリギング法で補間してメッシュデータを作成します。



ポイント群から凸包ポリゴン生成

前景レイヤーのポイントから、属性をキーとして分類し、そのグループごとに凸包ポリゴンを生成します。

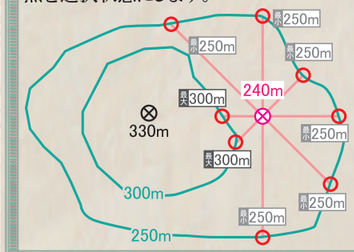


ポリゴン体積算出

ポリゴンの下にある標高メッシュまたは TIN を参照して、基準レベルからの体積を算出します（切り土・盛り土・堆積量などの計算に使われます）。

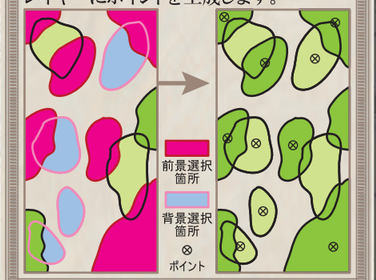
等高線と標高点の妥当性検査

等高線アークと標高点の位置関係より、異常な標高点や判定不能とされた標高点を選択状態にします。



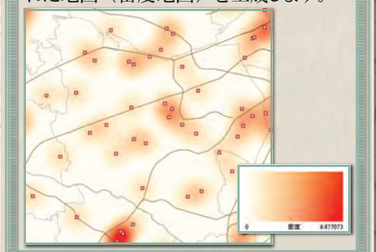
選択ベクター位置にポイント生成

全ての選択ベクターを対象として、新規レイヤーにポイントを生成します。



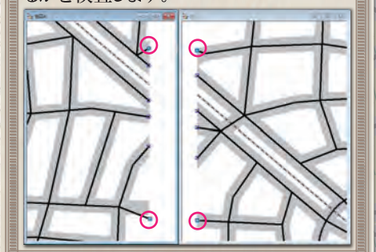
カーネル密度推定法による密度地図生成

「カーネル関数」を用いて、重みつきのポイントの分布から密度によって色分けされた地図（密度地図）を生成します。



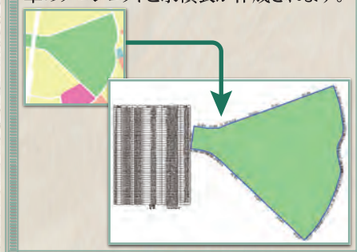
New プロジェクト間接合チェック

2 つのプロジェクトで、同一タイトルのレイヤーを参照して、端点ノードが接合しているかを検査します。



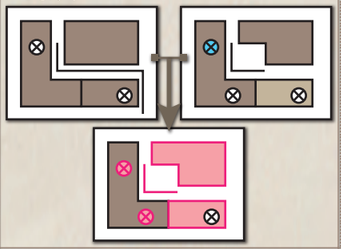
一筆（画地データ）の切り出し

筆図形の中から一筆を選択し、対象筆の切り出しを行います。 その結果、切り出した筆のプロジェクトと求積表が作成されます。



レイヤー間比較・変化分抽出

指定したレイヤーと他のレイヤーを比較して、一致するものがない要素を選択状態にします。

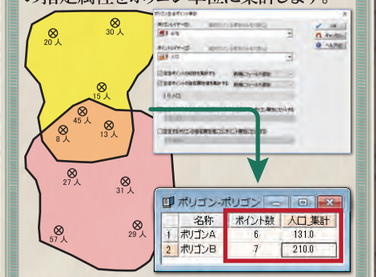


ボロノイ分割図生成

現在のレイヤーのポイントをもとに、「ボロノイ分割」を行います。

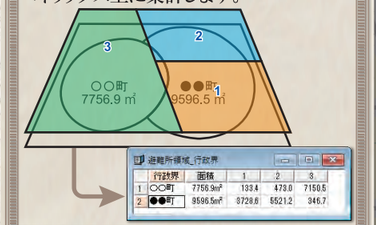
ポリゴン包含ポイント集計

ポリゴンに包含されるポイント数や、ポイントの指定属性をポリゴン単位に集計します。



ポリゴンオーバーレイによる面積クロス集計

指定された 2 つのレイヤーのポリゴンの重なり部分の面積を算出し、指定されたそれぞれのフィールドの値をキーとしてマトリックス上に集計します。

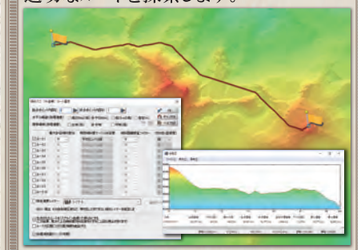


方向ベクターアーク生成

指定の起点からベクターの属性要素を使って、方向ベクトルを生成します。

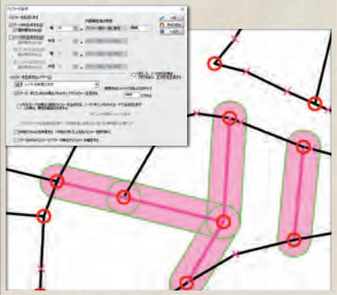
傾斜パス（林道等）ルート選定

指定のポイントからポイントまでの二点間のルートを最大傾斜などの制約を与えて適切なルートを探索します。



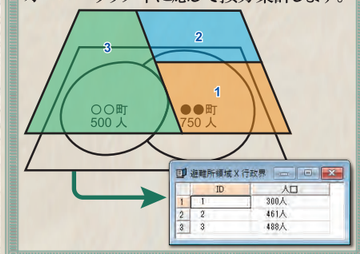
バッファー生成

ベクター要素にバッファーを生成します。



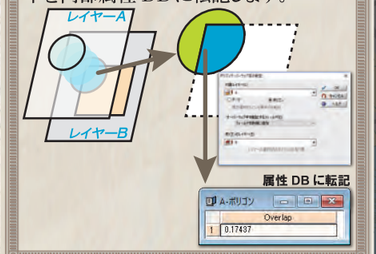
ポリゴンオーバーレイによる面積按分集計

指定された 2 つのレイヤーのポリゴンの重なり（オーバーラップ）部分の集計をオーバーラップ率に応じて按分集計します。



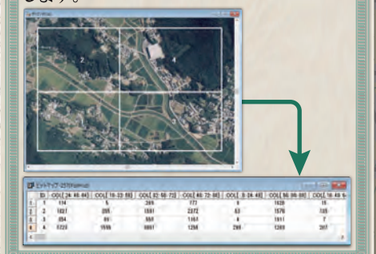
ポリゴンオーバーラップ率の転記

指定レイヤーのポリゴンと別レイヤーのアーク、またはポリゴンとのオーバーラップ率を内部属性 DB に転記します。



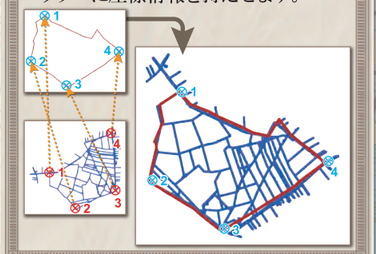
ポリゴン・背景イメージヒストグラムオーバーレイ

各ポリゴンに含まれる各色毎の画素数をカウントしてデータベーステーブルを作成します。



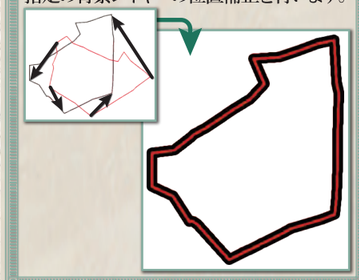
ベクターデータの合わせ込み変換

座標情報を持つプロジェクトに対して、座標情報を持たないベクターを合わせ込み、ベクターに座標情報を持たせます。



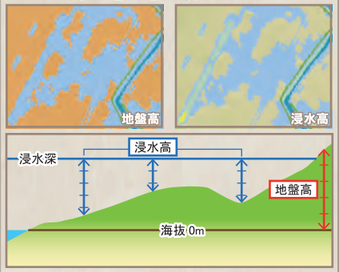
ベクターデータの合わせ込み変換 2

前景レイヤーのアークの始点から終点へ、指定の背景レイヤーの位置補正を行います。



浸水想定ベース地図作成（地盤高）/（浸水高）

標高メッシュを用いて、浸水想定を行うベースとなる地図を生成します。



Spatial Analysis

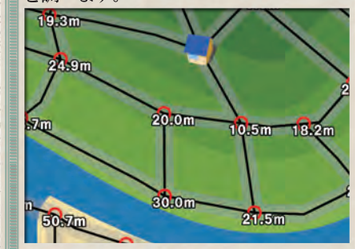
Spatial Analysis

New 孤立アークの検出

選択されたノード群から、ネットワークを介し、到達不能なアークを選択状態にします。

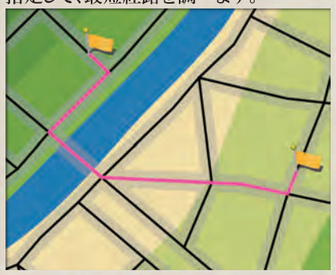
指定ノードから全ノード間 最短距離

指定したノードから連結しているアーク上にある全てのノードに対しての、最短距離を調べます。



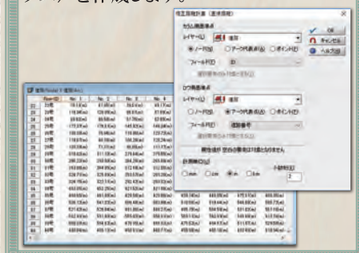
2点間最短経路

ネットワーク構造を持つアーク上の2点を指定して、最短経路を調べます。



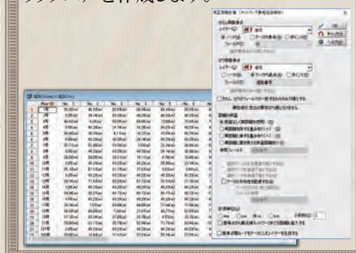
相互距離計算（直線距離）

ノード・アーク代表点・ポイント間の直線距離計算を実行し、相互距離表（マトリックス）を作成します。



相互距離計算（ネットワーク最短経路）

指定した2要素間のネットワーク上の最短距離計算を実行し、相互距離表（マトリックス）を作成します。



ネットワーク到達位置解析（距離指定）

アークネットワークを解析し、起点からの指定の到達距離位置を求めます。

ネットワーク最短到達領域解析（ネットワーク領域分割）

ポイント（基地）を終点として、ネットワークを介して最短で到達できる領域をポリゴン化します。

セールスマン巡回問題解析

ポイントデータを巡回点とし、単純直線距離または、道路ネットワークを利用して巡回路の総移動量が最小のルートを見つけます。

ネットワーク到達解析（断水シミュレーション）

断水アークと水源側アークを指定して、影響のあるノードまでの経路を選択状態にします。 結果として、選択されたノード・アーク数、総延長がメッセージボックスに表示されます。

チャート表示

指定した複数のフィールド値をチャート化して、属性として地図上に表示します。

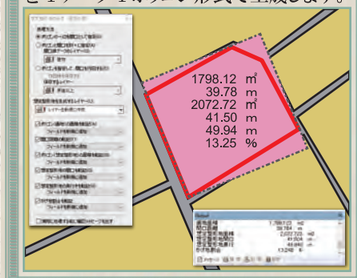
数値地図 25000（空間データ基盤）

アーク代表点での幅員算出

道路中心線の代表点位置から、別レイヤーの道路側線までの幅員を算出します。

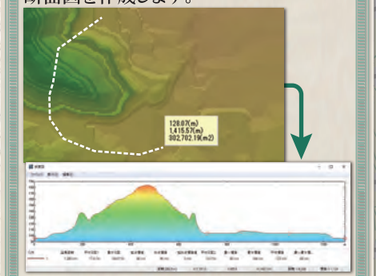
想定整形地の生成

ポリゴンに外接する想定整形地（長方形）を1アーク1ポリゴン形式で生成します。



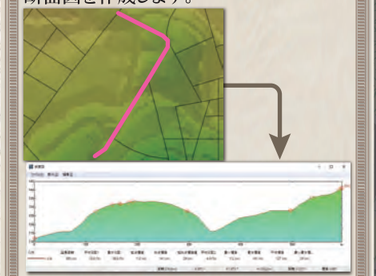
図上計測（断面図）

平面図上で指定した軌跡に沿った標高断面図を作成します。



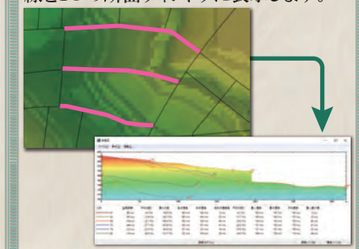
選択アークから断面図生成

選択状態のアークの軌跡に沿った標高断面図を作成します。



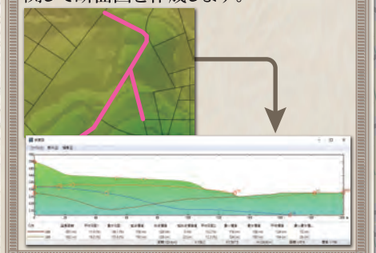
選択アークから断面図作成（マルチライン）

選択状態の複数アークの軌跡に沿った標高断面図を作成します。 複数の断面線を1つの断面ウィンドウに表示します。



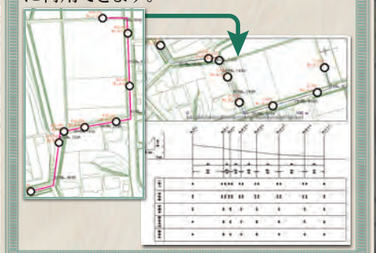
選択アークネットワーク（マルチ）から断面図作成

分岐するネットワークを識別して（重用）する部分も含めて、全てのネットワークに関して断面図を作成します。



アーク縦断図の生成

Z値の付与された選択アークから縦断図を作成します。 下水道縦断図面の作成に利用できます。

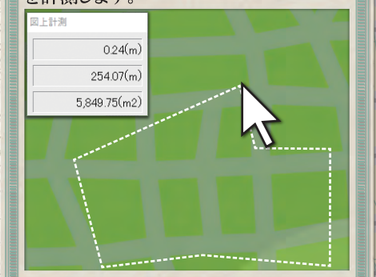


アーク縦横断解析

選択状態のアークの軌跡に沿って縦断解析、縦断線からの指定幅で横断解析を行います。

図上計測（距離と面積）

ベクターウィンドウ上で、距離や面積、角度を計測します。



図上計測（距離と勾配）

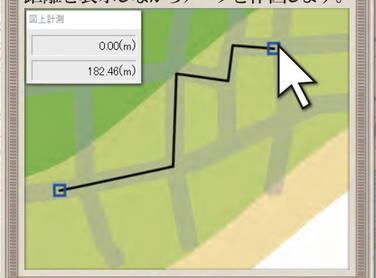
2点の座標（Z値含む）と2点間の距離、勾配（角度、パーセント）を求めます。

図上計測（垂線距離）

ベクターウィンドウ上で、任意の座標から垂直に下ろしたアークまでの垂線距離を計測します。

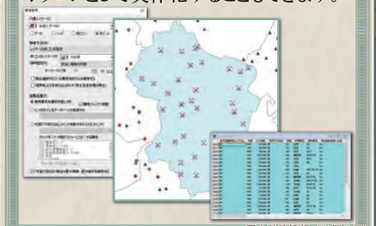
図上計測（距離 アーク作図）

ベクターウィンドウ上で、区間距離、延長距離を表示しながらアークを作図します。



領域検索・通知

ベクターデータの領域を指定して検索し、検索結果を内部データベース上のデータで表示します。 また、任意領域検索をポリゴンとして実体化することもできます。



国土数値情報（地価公示）

領域検索・集計

ベクターデータの領域を指定して検索し、検索結果を内部データベース上のデータで集計します。

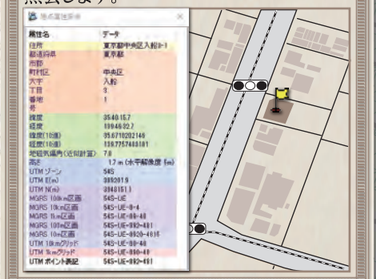
Spatial Analysis

Spatial Analysis

Spatial Analysis

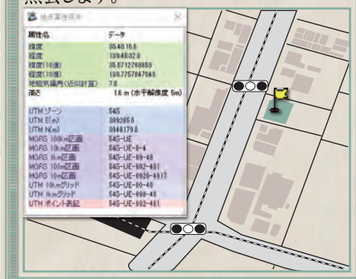
New 指定位置の住所等照会

図上で指定された任意位置の住所等を照会します。



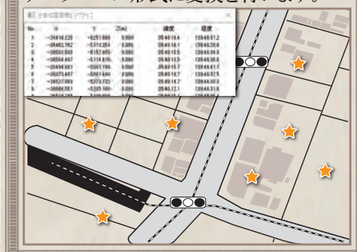
New 指定位置の座標等照会

図上で指定された任意位置の座標等を照会します。



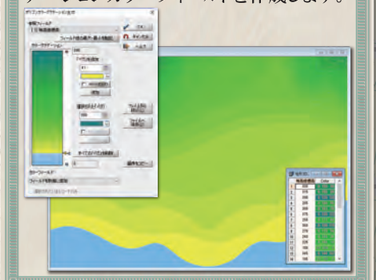
任意位置座標のピックアップ

図上で指定された任意の位置座標と標高をリストし、終了時に PC-MAPPING のデータベース形式に変換を行います。



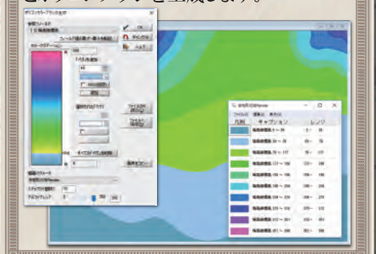
ポリゴングラデーション カラーの生成

指定した参照フィールドに対応するグラデーションカラーフィールドを作成します。



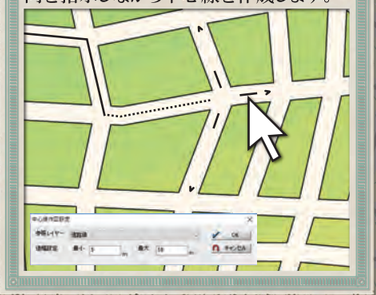
ポリゴンカラーブラシの生成

参照するフィールドを指定し、グラデーションと分割数を設定して、描画パラメーターとポリゴンブラシを生成します。



中心線作図（対話処理）

外周レイヤーに対し、対話的に場所と方向を指示しながら中心線を作成します。

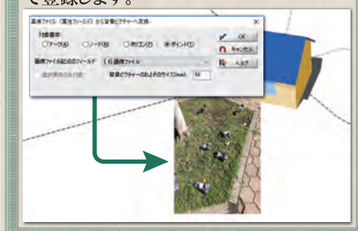


矩形ポリゴンから図郭座標付与

矩形ポリゴン内部属性フィールドに画像ファイルのパスの記述がある場合、矩形領域から得られる座標をその画像の座標情報として、GeoTiff ファイルやワールドファイルに保存します。

画像ファイルから背景ピクチャーへ変換

ベクターの内部属性フィールドに画像ファイルパスの記述がある場合、ベクター上の位置に、画像ファイルを背景ピクチャーとして登録します。



JPEG ファイルへの位置座標付与

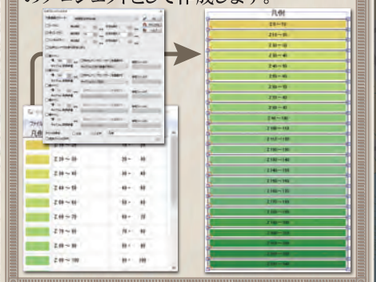
ベクターから得られる座標を JPEG ファイルの GPS 位置情報として記録します。

表示領域の図郭コード等の算出

表示されている領域に該当するメッシュコードと、各縮尺の DM 図葉コードのリストを表示します。

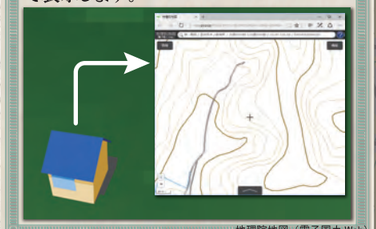
凡例プロジェクト作成

描画パラメーターを指定して、凡例を新規のプロジェクトとして作成します。



表示領域検索

現在表示されている領域、表示中心付近を GoogleEarth、BingMaps、GoogleMaps、ストリートビュー、Yahoo! 地図、地理院地図で表示します。



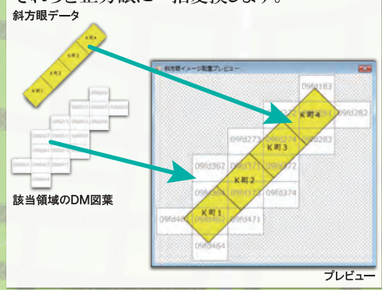
地理院地図（電子国土 Web）

イメージ編集

地図編集に最適な機能で、ピクセルレベルの精密さでイメージデータを編集します。

斜方眼イメージの一括変換

斜方眼のイメージデータ（斜方眼の航空写真、道路図面、鉄道図面等）が複数ある場合に、それらを正方眼に一括変換します。



マルチページイメージの生成

複数のイメージファイルを 1 つのファイルにまとめる場合に使用します。作成されたマルチページファイルは、リレーションでのイメージ表示時に呼び出すことができます。

正規化

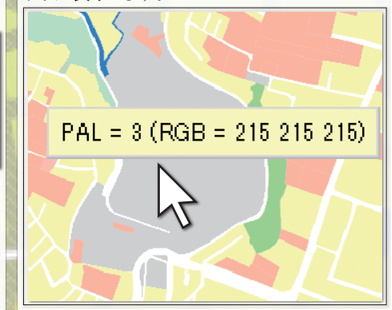
指定された基準点を基に、正規化処理を実行します。非正規化図郭（変則図郭）のデータも変換できます。

簡易オルソ変換

指定された四隅のトンボ点と、基準点（または補助基準点）、標高データを基に簡易オルソ変換処理を実行します。

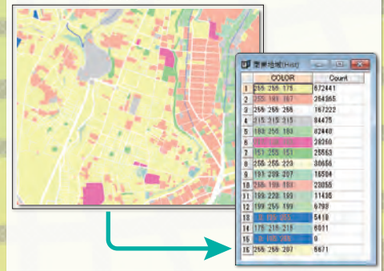
New カーソル位置の RGB 値を表示

マウスカーソルがある位置の RGB 値をツールチップ表示します。



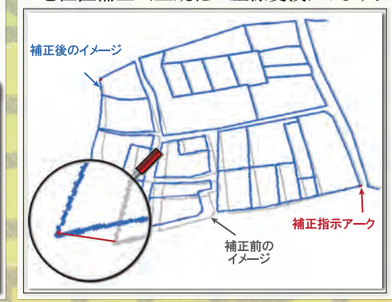
インデックスカラー画像のヒストグラム

1 ビット、4 ビット、8 ビットカラーの画像に関して、各色毎の画素数をカウントしてデータベーステーブルを作成します。



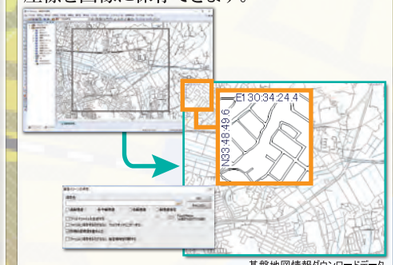
背景イメージの位置補正

レイヤーのアークの始点から終点へ、背景イメージを位置補正（正規化・座標変換）します。



表示画面を印刷・画像データとして保存

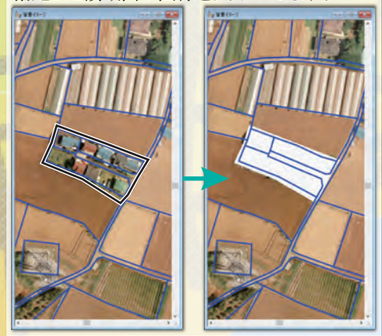
指定した矩形領域のハードコピーをクリップボードにコピーします。切り出した領域の四隅座標を画像に保存できます。



基盤地図情報ダウンロードデータ

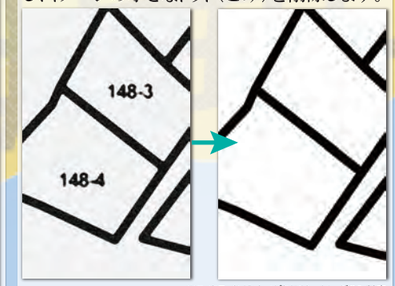
背景イメージの領域クリアー

指定した領域内の画像をクリアーします。



背景イメージのショートベクターフィルター

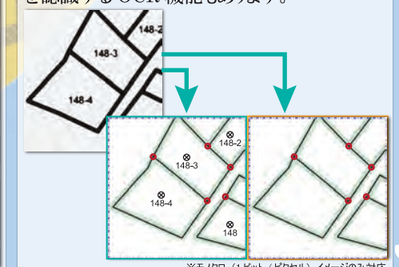
ショートベクターしきい値、イメージの幅等を指定し、イメージの小さなドット（ごみ）を削除します。



※モノクロ（1 ビット / ピクセル）イメージのみ対応

ベクター変換 / 文字認識

イメージデータから位相構造を持つベクターデータに変換できます。また、図面上の文字を認識する OCR 機能もあります。



※モノクロ（1 ビット / ピクセル）イメージのみ対応
※文字認識には、MicrosoftOffice2007 のインストールが必要

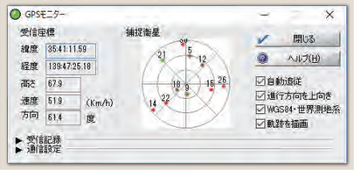
Edit Image

システム

プロジェクトを
効率よく管理します。
手軽にカスタマイズして
専用メニューを構築できます。

GPS モニター

GPS レシーバーから、シリアルポート / Garmin USB / Windows センサー API を経由して NMEA フォーマットを解析し、ダイアログボックスに GPS 受信状態を表示します。 受信記録の保存・再生や、地図上での位置をポイント表示します。

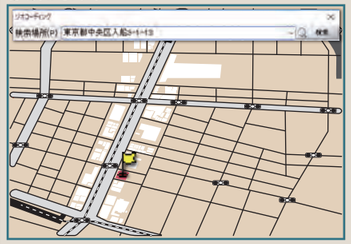


GPS ログから軌跡ベクター生成

GPS ログファイルからベクターデータ（アーク・ポイント）を生成します。

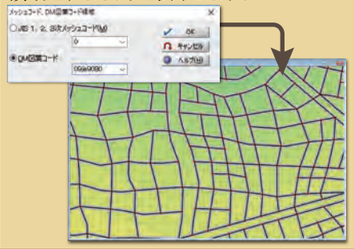
ジオコーディング検索ウィンドウ

専用のジオコーディングデータベースを使い、入力した住所からその位置を検索し移動します。



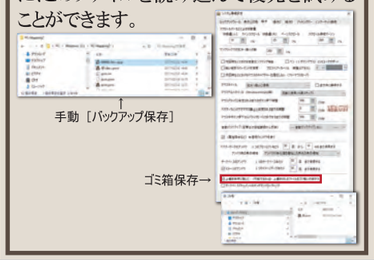
メッシュコード、DM 図葉コード領域

指定の 1、2、3 次メッシュコード、あるいは、DM 図葉コードの領域全体が現在の表示領域に収まるように表示します。



バックアップ保存

修正のあったデータファイルを別ファイル名で保存しておき、万一のマシンダウン等に、このファイルを読み込んで復元を試みることができます。

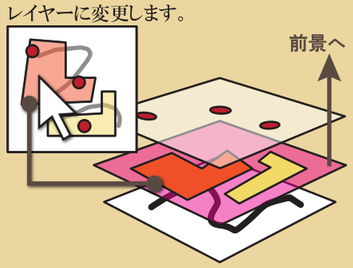


カスタマイズ

メニューバー、ツールバー、アクセラレーターキーを自在にカスタマイズできます。また、Script を活用したメニューを組み込むこともできます。

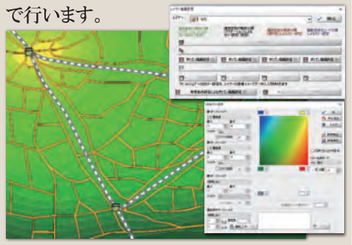
要素指定による前景レイヤー選択

マウスで指定した要素（アーク、ノード、ポイント）が存在するレイヤーを前景（編集）レイヤーに変更します。



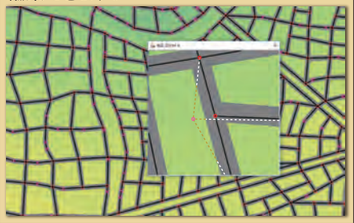
レイヤー描画設定

指定フィールドの値に応じて、ブラシやペンの色だけでなく、アークの線幅やノード・ポイントのサイズ等のベクター描画設定を一括で行います。



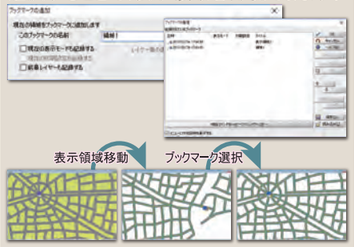
ルーペ / ズームボックス

ルーペで拡大するように、画面の一部を拡大表示します。 また、ズームボックスを置いた箇所を拡大表示し、そのビュー上で直接編集できます。



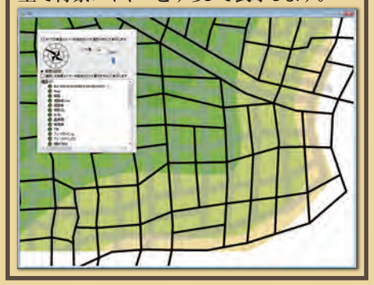
ブックマーク

表示領域を名前をつけて記録し、表示領域を変更した場合でも記録したブックマークを選択することで、表示領域を再現できます。



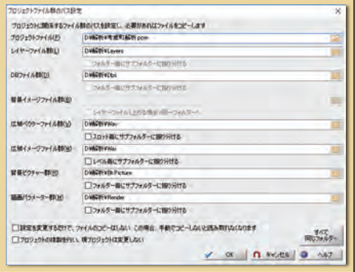
レイヤーシフトビュー

編集レイヤーの中心を固定し、指定した変位量で背景レイヤーをずらして表示します。



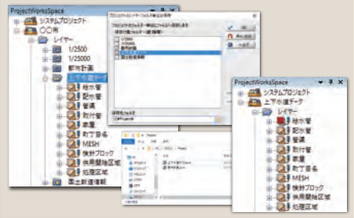
プロジェクトファイル群のパス設定

プロジェクトに対してファイルのパスを設定し、指定した場所にファイルを保存します。



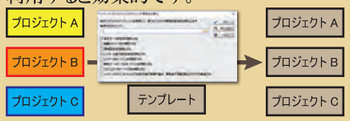
レイヤーフォルダー単位の分割保存

現在のプロジェクトの最初の階層にあるフォルダー単位にプロジェクトファイルとしてファイルにまとめて保存します（フォルダー単位のレイヤーのバックアップに相当）。



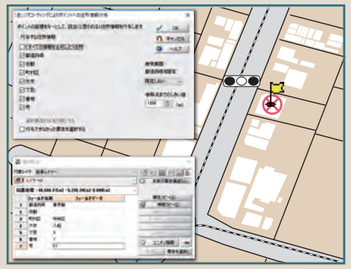
テンプレートからプロジェクト環境の初期化

テンプレートとするプロジェクトファイルを指定し、現行のプロジェクトの環境設定や表示モード、描画パラメーター、レイヤー表示設定等を入れ替えます。
複数人でプロジェクトを分けて作業すると、それぞれの設定が異なる場合があります。このような時に、納品形態テンプレートとして利用すると効果的です。



逆ジオコーディングによるポイントへの住所転記

座標を参照し、住所情報をポイント内部属性に転記します。

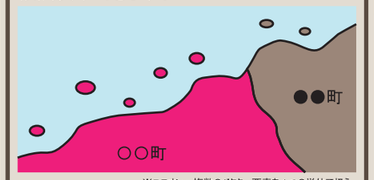


固有属性転記

ベクター要素の固有属性を内部属性フィールド、または、リンクしているデータベースへ転記します。

ユニオン

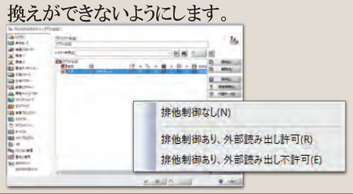
生成されたユニオンでは、その構成要素の 1 つを選択すると、ユニオンの構成メンバー全てを選択することや、［属性照会］時に所属するユニオンの構成メンバー全てを強調表示できます。



※ユニオン = 複数のベクター要素を 1 つの単位で扱う。

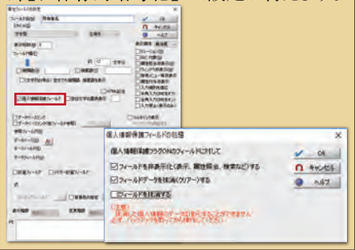
排他制御

ネットワーク環境等において、複数のユーザーが同時に同じデータに更新をかけると、データの整合性が取れなくなる恐れがあります。 それを防ぐため、あるユーザーが使用中のファイルは、他のユーザーでは書き換えができないようにします。



個人情報保護フィールドの処理

「個人情報保護」設定を行ったフィールドに対し、「印刷時除外」、「エクスポート時除外」、「保存時暗号化」の設定が行えます。

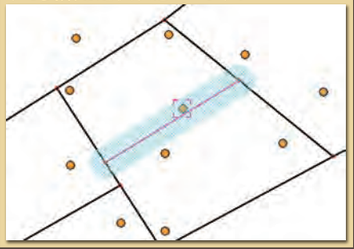


地理院タイル表示

国土地理院が配信する地理院地図を背景に表示します。 ダウンロードした場合は、広域イメージに登録することができます。

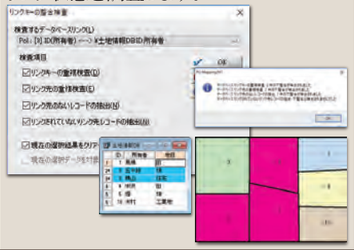
バッファー選択

選択要素から仮想バッファーを生成し、バッファーが完全包含（または、部分包含）する要素を選択状態にします。



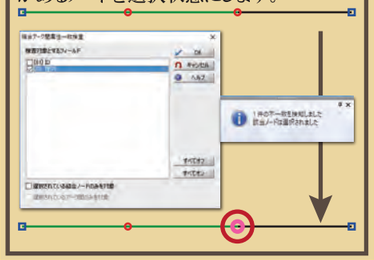
リンクキーの整合検査

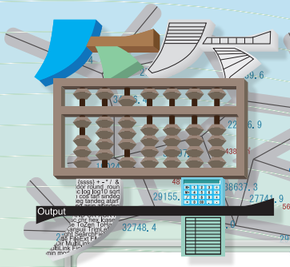
アクティブなベクターウィンドウの内部属性項目とリンクしているデータベースの間のリンク状態を調査します。



結合アーク間属性一致検査

ノードで接続しているアーク間において、指定の属性フィールド値が一致しないアークがあるノードを選択状態にします。





データベース

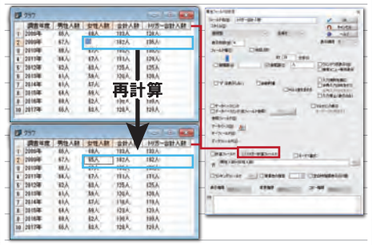
GISの要となる
データベースを効率的に
利活用できます。

データベース定義の整合検査

データベースのフィールド名等を検査します。外部データベースにデータをエクスポートする場合にエラーとなるフィールド名（例えば「,」などの文字記号）を検査します。

トリガー計算フィールドの再計算

「トリガー計算フィールド」が設定されたフィールドは再計算メニューが実行されるまで、計算結果は更新されません。

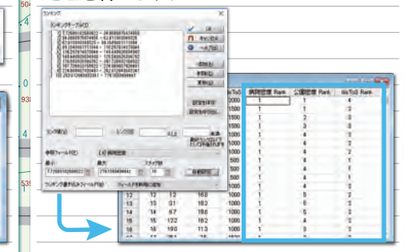


リンクキーの整合検査

データベースとリンクしているデータベース間のリンク状態を調査します。

ランキング

指定したフィールドデータに対し、ランキングテーブルを設定し、ランキング（順位付け）処理を行います。



集計・統計処理

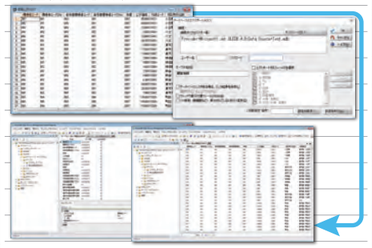
指定したフィールドの整数、実数、文字列データをキーとして、特定のフィールドの整数または実数値データの集計を行います。

処理の種類

- 合計
- 平均値
- 最大値
- 最小値
- 標準偏差
- 平均絶対偏差
- メディアン
- 最頻値

データベースエクスポート

ADO、ODBC でのエクスポートの他、クリップボード、メタファイル、Excel、HTML ファイルへ出力できます。

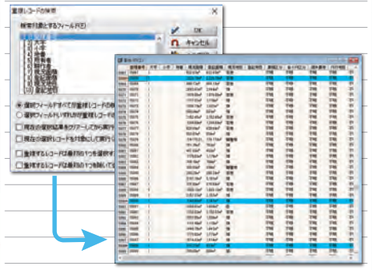


外部 DB リンクプロパティ

外部データベースとリンク設定されているデータベースのリンク情報を表示します。ラジオボタンの選択によりリンク状態の切り替えを行います。

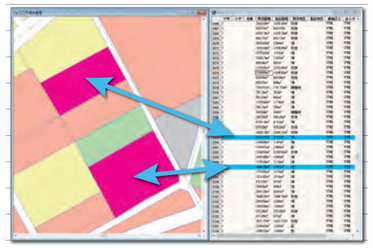
重複レコードの検索

指定したフィールドから、重複するレコードを検索します。



選択状態をベクターへ転記
選択状態をベクターから転記

内部属性データベースのレコードとベクターウィンドウ上のベクター要素間で、選択状態を転記します。

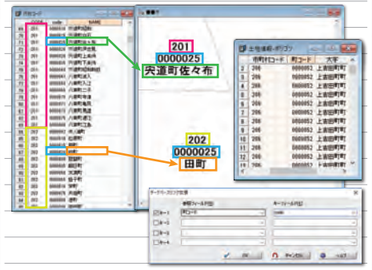


リンクデータベース呼び出し

データベースリンクが設定されている場合、カード形式でリンクデータベースの該当するページを表示します

複数キーでのデータベースリンク

データベースリンク拡張で、キーフィールドを最大 4 つまで追加して指定できます。

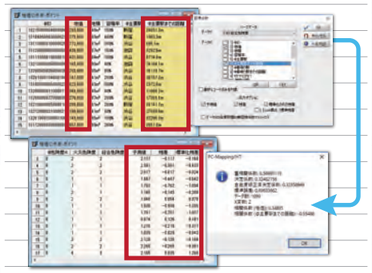


フィールドの
データベースリンク化

レコードの内容がある程度パターン化されている場合、出現する各パターンを辞書データベース化して、元のフィールドを、データベースリンクに切り替えます。

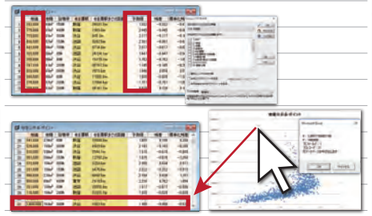
回帰分析

指定フィールドに対し、回帰分析（重回帰分析）を行います。



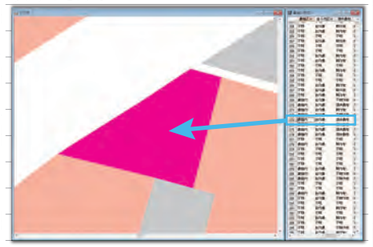
Excel 上にグラフ作成

指定のフィールドを元に、Excel を起動してグラフを生成します。また、グラフ上のデータ点をクリックすることで、該当する元のデータベースを呼び出すこともできます。



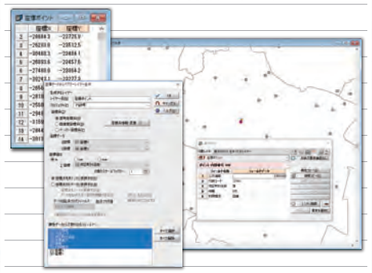
現在のレコードの
自動追従ベクターデータ検索

現在の属性データベースレコードに該当するベクター要素を検索して、画面の中心位置に表示します。



座標データのベクター変換

属性データベース、または、内部属性の座標値をベクターデータに変換します。

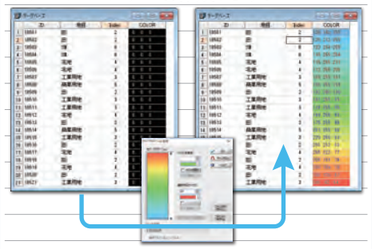


フィールドの照合・転記

2 つのデータベース間で、指定したフィールドが一致するかどうかを照会します。相違があった場合、値を転記することもできます。

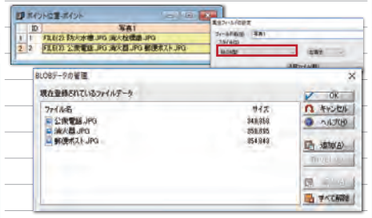
グラデーションカラーの作成

既存のカラー型フィールドや新規にカラー型フィールドを作成して、指定の色から色へのグラデーションカラーを作成します。



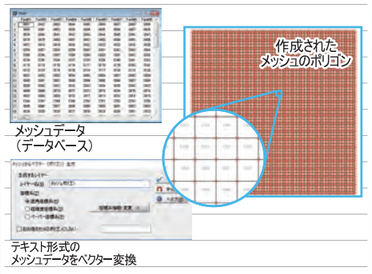
BLOB データの管理

「BLOB（=Binary Large OObject）」型 のフィールドレコードにデータを追加登録、削除、あるいは既に格納されているファイルを展開します。



メッシュデータの
ベクター（ポリゴン）変換

属性データベースまたは、内部属性をメッシュデータとしてポリゴンに変換します。

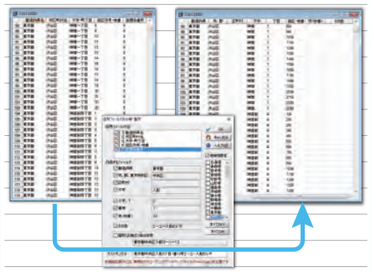


ジオコーディングによる
ポイント生成

ジオコーディング対象の住所情報を参照してポイントを自動生成します。

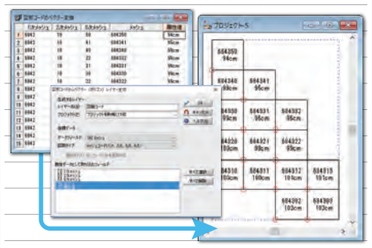
住所フィールドの分解・整形

指定したフィールドの住所表記を解析して、データを分解・整形します。



図郭コードのベクター変換

DM 図郭コード、もしくは、1、2、3、4 次メッシュコードを持つレコードから、該当する座標に 1 アーク 1 ポリゴンを生成します。



インポート
PC・MAPPING

汎用データ
- 座標テキストデータ
- Windowsメタファイル（WMF/EMF）
- グレースケール画像形式のメッシュデータ
- XML形式PC-Mapping交換プロジェクトファイル
- GPS情報付きEXIF-JPEGファイル
- **GeoJSON/TopoJSONデータ**

公共・市販データ
- **公共基準点・水準点データ（JPGIS附属書8・12形式）**
- **成果表数値フォーマット（基準点、水準点）**
- 基準点測量成果表数値フォーマット
- 基盤地図情報ダウンロードデータ　JPGIS（GML）形式
- 街区レベル位置参照情報ファイル
- 電子国土基本図（地名情報）「住居表示住所」データ
- **法務省地図XMLフォーマットデータ**
- 総務省地図で見る統計（統計GISデータ）
- （旧）電子国土［JSGI］/電子申請用添付地図
- SQL空間データ
- WFS（Web Feature Service）
- **地理院ベクトルタイルデータ**
  道路中心線、鉄道中心線、河川中心線、基準点、単写真情報、2万5千分1地形図郭、基盤地図情報（基本項目・数値標高モデル5mメッシュ航空レーザー測量（一部地域）・数値標高モデル10mメッシュ地形図の等高線）、指定緊急避難場所（洪水・崖崩れ、土石流及び地滑り・高潮・地震・津波・大規模な火・内水氾濫・火山現象）
- **地理院地図標高タイルデータ**

数値地図
- 25000/50000/200000（地図画像）
- 25000（空間データ基盤）/［JPGIS版］
- 25000/200000（行政界・海岸線）
- 25000（行政界・海岸線）［地理情報標準版］
- 2500（空間データ基盤）/［独自形式版］/［地理情報標準版］
- 10000（総合）
- 5000（土地利用）
- 500万（総合）
- 25000（土地条件）
- 地球地図日本
- 国土基本情報（GML）
- 火山地形分類データファイル
- **国土基本情報20万（GML）**
- **電子地形図定形図郭版**

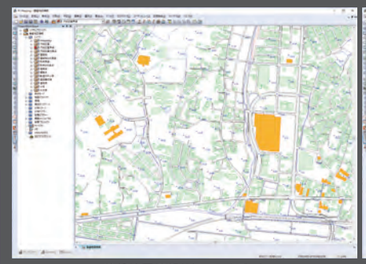
国土数値情報
- 国土数値情報（点、線、面）
- 土地利用メッシュ（ポリゴン化）
- 土地利用メッシュ
- 地価公示、都道府県地価調査点
- 道路延長メッシュ（N04-15M）
- 国土数値情報（JPGIS準拠データ）
- 国土数値情報（GMLデータ）

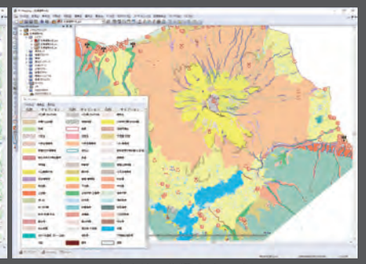
共通ファイル形式
- SIMA
- JSIMA（SIMA JPGIS）
- CADデータ交換標準フォーマット（SXF）
- DM（ディジタルマッピングデータ）
- 地籍2000フォーマットデータ
- **航空レーザープロファイラーデータ等**
- **数値地形図データ（JPGIS附属書8・12形式）**

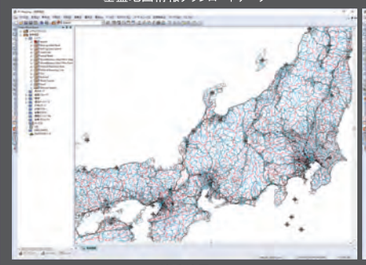
他社データ
- DXF（AutoCad）
- Autodesk MapGuide SDLフォーマット
- Nigmas NIF2/NIF3/NIF4
- ArcInfoバイナリーカバレッジ（ADF）
- ArcInfo Export（E00）
- ArcViewシェープファイル分割変換
- ArcViewシェープファイル
- MapInfo（MIF/MID）
- インターグラフスタンダードファイル（DGN）
- MercuryWin（拡張SIMA）
- SISエクスポートデータセット（SED）
- DRM（全国デジタル道路地図データ）
- KMLファイル

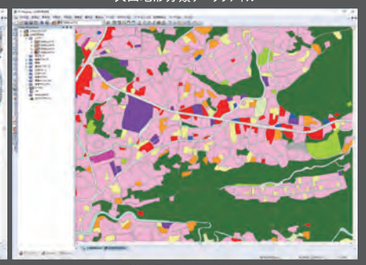
赤文字は、新対応です。（2017年3月現在）

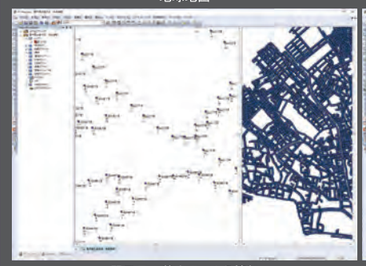
Import

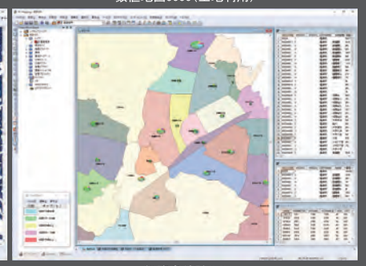

基盤地図情報ダウンロードデータ

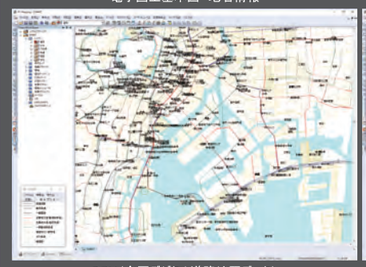

火山地形分類データファイル

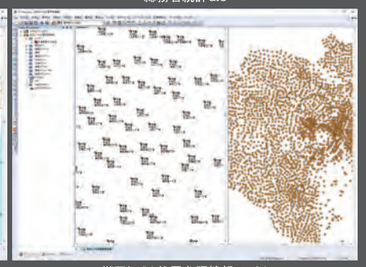

地球地図


数値地図5000（土地利用）

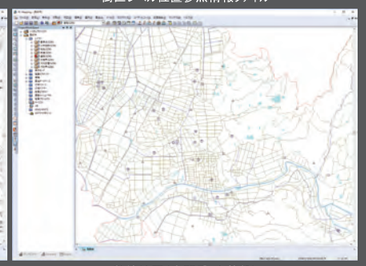

電子国土基本図　地名情報

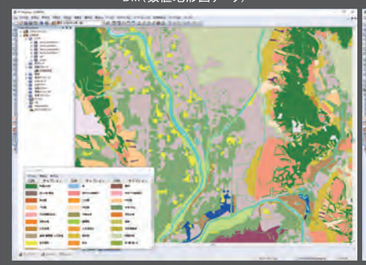

総務省統計GIS

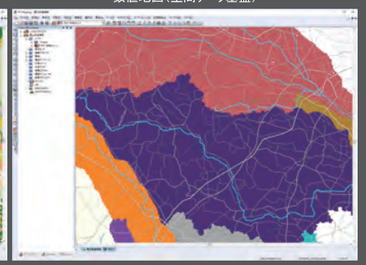

DRM（全国デジタル道路地図データ）


街区レベル位置参照情報ファイル

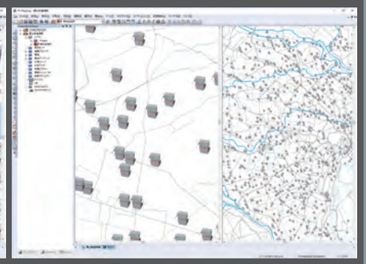
DM（数値地形図データ）

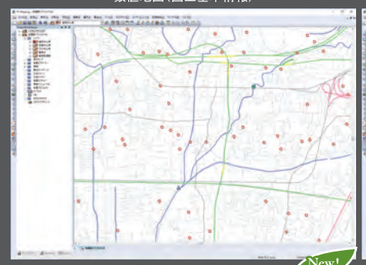

数値地図（空間データ基盤）

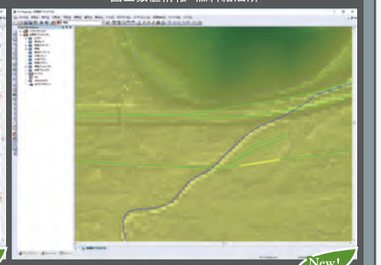

数値地図（土地条件）


国土数値情報　河川流域メッシュ

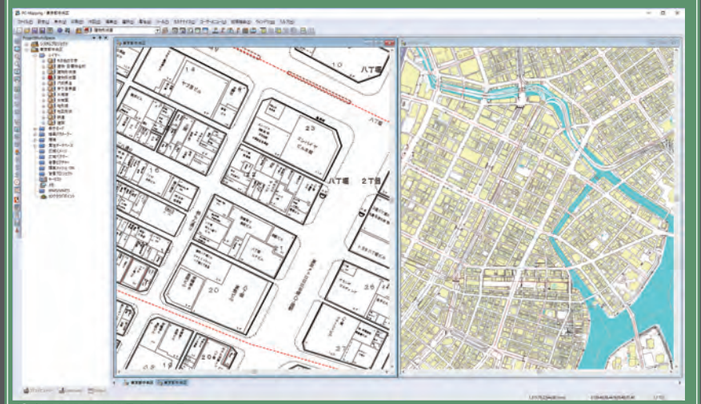
数値地図（国土基本情報）

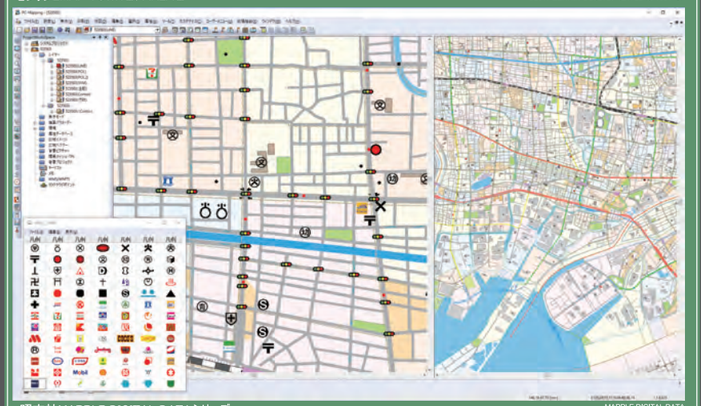

国土数値情報　燃料給油所


地理院ベクトルタイルデータ New!


地理院ベクトルタイルデータ（数値標高モデル） New!

オプション機能（有償）


ゼンリンZMAP TOWNⅡ/AREAⅡ　©2017 ZENRIN CO.,LTD.（Z17LD 第 1661 号）

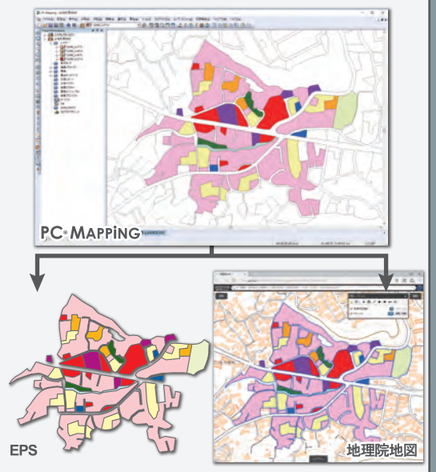

昭文社MAPPLE DIGITAL DATAシリーズ　MAPPLE DIGITAL DATA 地図使用承認 © 昭文社第 530117 号

変換サービス
ゼンリンZMAP TOWNⅡ/AREAⅡ
昭文社MAPPLE DIGITAL DATAシリーズ
国際航業 PAREAシリーズ
北海道地図 GIS MAPシリーズ

拡張機能	
JSP・SIMA-DM	エクスポート
DMデータ	新規作成・エクスポート、DM表現サンプルプロジェクト、インデックスファイル作成、メッシュ指定によるエクスポート、DM分類・区分コード整合性検査、JSP・SIMA-DMエクスポート
PC-MAPPING WSEツール	
地籍フォーマット2000	新規作成・エクスポート、地籍（旧）国土庁フォーマット
河川基盤地図データ	新規作成・インポート・エクスポート
流域地盤環境データ	新規作成・インポート・エクスポート
ダム環境情報地図データ	新規作成・インポート・エクスポート
河川環境情報地図データ	新規作成・インポート・エクスポート
NTX対応キット	インポート・エクスポート・検査※レンタルでの提供

ベクター標準書き出し

PC・MAPPINGで編集したデータをそのまま他のアプリケーションで共有できるように豊富な出力機能を備えています。



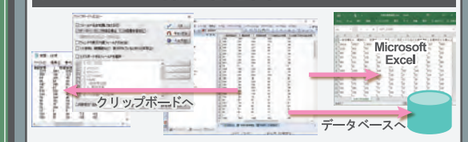
汎用データ
- XML形式PC-Mapping交換プロジェクトファイル
- **PC-Mapping GML Generic**
- Windows拡張メタファイル（EMF）
- 座標テキストデータ

公共・市販データ
- （旧）電子国土Webシステム用XMLデータファイル
- 公共基準点データ（基準点測量JPGIS）
- 公共基準点データ（基準点測量JPGIS2）
- SQL空間データ
- **PDFファイル**
- **地理院地図用KMLウェブ地図プロファイル**

他社データ

SIMA	SISエクスポートデータセット
JSIMA（SIMA JPGIS）	Illustrator（EPS）
スケーラブルベクターグラフィックス（SVG/SVGZ）	Googleマップオーバーレイデータ
G-XML（第2.0版）	GoogleEarth（Googleマップ）KMLファイル
Nigmas NIF2/NIF3	**Bing Maps図形ファイル**
DXF（AutoCAD）	**GeoJSON/TopoJSON**
ArcInfo Export（E00）	**Webメルカトルタイル画像**
MapInfo（MIF/MID）	**ベクトル（GeoJSON）タイル**
ArcViewシェープファイル	**Stereolithography（stl）**
CADデータ交換標準フォーマット（SXF）	**HTML（3D）**

データベース標準書き出し



CSV/Textファイル		ADO
MS-Accessファイル（mdb, accdb）		ODBC
Excelファイル（xls, xlsx）		クリップボード
dBaseⅢ-5ファイル（dbf）		メタファイル
XML	**SQL**	**HTML**

エクスポート
PC・MAPPING

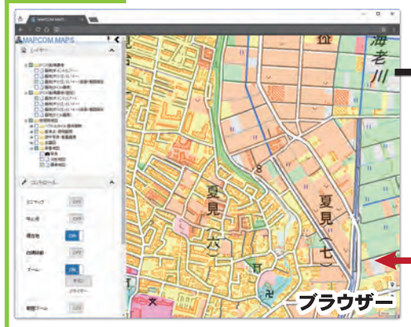
Export

新商品

PC·MAPPING Smart Web Extension

PC-MAPPING HT で構成されたプロジェクトファイルを、Web 地図のデファクトスタンダードである Web メルカトルタイルへ変換し、ブラウザー上でマップビューを実現します。

クライアント



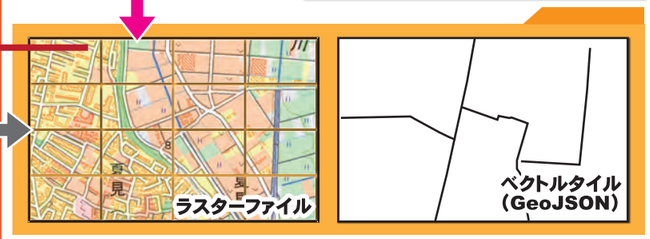
クライアント機能

Web 地図用 JavaScript ライブラリ Leaflet 等のオープンソースにより構成されます。
デスクトップ、モバイル端末の各種ブラウザーに対応します。

拡張・カスタマイズ

PC-MAPPING SWE サーバーから配信する機能とブラウザーで表示する基本機能をオープンソースで提供しています。
ユーザーが自由に拡張やカスタマイズできます。

WWWサーバー



オンデマンド配信データ作成機能

配信するタイルデータは、事前に変換をかけてデータを用意しておく方法だけでなく、サーバーで必要に応じて生成するオンデマンド方式にも対応しています。
サーバー処理の負担は増えますが、大量のタイルデータを生成する手間が省け管理しやすくなります。

パソコン

配信データ作成機能

タイルデータの生成は、PC-MAPPING HT の標準機能で用意され、ベクトルタイル（GeoJSON）形式、ラスタータイル形式に対応しています。
タイルデータは、ユーザーが用意したプロジェクトファイルを指定したズームレベル毎に一括で作成できます。

製品構成	
取扱データ	：PC-MAPPING プロジェクト（ベクター、ラスター、その他）
クライアント	：HTML5 に対応した WEB ブラウザ（IE、Chrome 等）

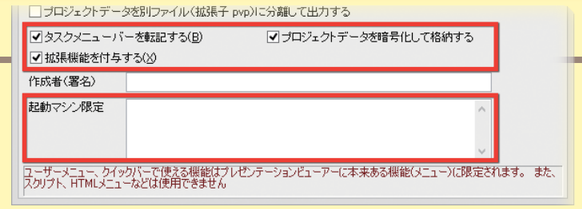
カスタマイズ	○	簡易作図機能	○
データキャッシュ機能	○	64 ビット版	○

システム要件	
サーバー（オンデマンド方式）	Windows Server 2012 以降＋WEB サーバー（IIS）
サーバー（データ配信のみ）	Windows Server 2012 以降＋WEB サーバー（IIS、Apache 等） Unix、Linux＋WEB サーバー（Apache 等）
クライアント	本体（対応 OS）：Windows 7/8/8.1/10　ディスプレイ :1024×768 以上の表示 RAM :2GB 以上（4GB 以上推奨）　その他 ：マウス、キーボード

WebSolution

PC·MAPPING オプション 拡張 PVP 機能

拡張 PVP とは、PC-MAPPING のデータ閲覧形式 PVP（プレゼンテーションビューアパック）の機能をさらに機能 UP した特別モデルです。
より高機能な PVP をロイヤリティフリーで配布できます。



利用できる機能

スナップショット（画面コピー）	レイヤー表示	トリガー計算フィールドの再計算
タスクメニューバー	Proc コマンド各種	クイックシェイプ
MMS 画像　*LadyBug 製品 ファイルとの連携機能 （パノラマビュー）	ベクターモーフィング	クイックシェイプ追加インポート
	属性検索条件の保持	プロジェクトデータ暗号化
	クイック印刷の拡張オプション	GPS ログからのビデオ再生
表示制御スキーマ	背景ピクチャーへの貼り付け	クイック 3DView

Viewer

モバイル調査システム

出簡調（デカチョウ）

調査に必要な地図、書類、カメラまでタブレット一台で対応します。
調査項目を自由に設定できるので幅広い業務に対応します。
さらに、メニューボタンも自由に設定できるので、簡単な操作を実現しています。

活用事例							
屋外広告物調査（看板点検調査）	バリアフリー調査	公園施設調査（長寿命化点検）	防犯灯調査（防犯・防災）	通学路危険箇所調査（防犯・防災）	空き地調査（不動産調査）	パーキングメーター点検業務	河川管理
	協定農用地調査						
照明灯調査（道路ストック）	空家調査	標識調査（道路ストック）	駐車場調査（不動産調査）	避難行動要支援者名簿現地調査（防災）	消火器・消火栓調査	放置自転車確認調査	道路施設管理

mobile

安心してお使いいただくために

PC·MAPPING BSS

Basic Support Service

新しい情報をすぐに提供できるように
お客様とサポートサービス契約を締結し
常に最新情報を盛り込んだ
ソフトウェアをご提供致します。

PC·MAPPING シリーズ Basic Support Service

BSSの内容 Contents

BSS対象商品

HT　HT x64　SP　HT AXDV　SWE　業務アプリ

BSSの範囲

- **最新版のご提供**
  （強化機能・新機能、
  従来までの定期バージョンアップ相当を含む）
- **最新情報トピック等のご提供**
- **不具合の優先対応**
- **操作サポート**
  （初期導入研修、基本操作説明は含みません）
  ・対応期限　2営業日以内
  ・受付方法　**PC-MAPPING** メニュー
  HP問い合わせフォーム
  ・営業時間　弊社営業日（9時～17時）

※初期導入研修及びBSSの詳細については、販売代理店までお問い合わせください。

Mailサポート e-Mail

PC-MAPPING の操作サポートは専用メールをご利用ください。

サポートセンター宛のメールは一元管理されています。
全てのスタッフが同時に閲覧しますので、それぞれの専門分野のスタッフがサポートを迅速に行うことができます。
また、メイン担当が不在の場合でも他のスタッフが対応しますので、ユーザー様にご迷惑をおかけしません。

特典 Benefits

ライセンスプロテクト装置破損時も初回であれば無料で交換致します。
原則、交換ライセンスプロテクト装置を即日（営業日の場合）発送致します。

BSS加入期間中であれば、最新バージョンを何度でもダウンロードできます。
さらに、お客様のご希望で最大年12回まで最新インストールディスクを無償で発送致します。

Ver.4以降をお持ちであれば、Ver.7までのバージョンアップ費用を頂くことなく、最新バージョンを提供致します。※別途登録手数料がかかります。
また、Ver.4/5 は初期研修が必要（有償）です。

ISC（講習会）を1講座無料で受講できます。
http://www.mapcom.co.jp/isc/index.htm

◎マークがあるものは、BSS に 1 年以上加入された場合にご利用いただけます。

Webサポート

PC-MAPPING をさらに有効活用できるお役立ち情報、最新情報が満載

ヒント集

オンラインヘルプでは説明しきれない機能の詳細を実例を挙げて紹介しています。
詳しい手順も掲載していますのでどなたでも確実に **PC-MAPPING** の機能を習得できます。

質問集	よくある質問と解答
障害報告情報	障害情報を掲載
機能更新情報	新規追加された機能を掲載
メーリングリスト	どなたでも参加可能
お問い合わせ	フォームを利用してのお問い合わせ

Support

標準搭載機能

共通

ファイル (S P P)
- 新規作成
- プロジェクト
- データベース
- 外部データベース(DAO/ODBC/CSV)
- 外部データベース(ADO)
- 固定長レコードデータ
- スクリプト
- イメージデータ
- 標高メッシュデータ
- ネットワークから取り寄せ※SPのみ ○
- 開く ○
  - *SP 対応 pcm, pcms, pcml, pcmex, pcmbm, pcmzz, psc, psl, pvm3
- プロジェクトを開く ○
- パスワード保護プロジェクトの署名確認 ○
- 閉じる
- 上書き保存 ○
- 名前を付けて保存 ○
- インポート(p.21参照)
- クリップボードから貼り付け

システムツール
- 画像処理
  - スキャナー入力
  - イメージのベクター変換
  - GPS情報付きEXIF-JPEGファイルの取り込み
  - テキストメッシュデータをイメージに変換
  - 16ビット階調TIFFファイルのインポート
  - イメージ間のカラーマッチング
- ソケット通信
  - サーバーからデータ取り寄せ ○
  - サーバーへデータ送信 ○
  - 通信待ちうけ(サーバー機能)
- GPS
  - GPSモニター △
  - GPS(GarminUSB)モニター △
  - GPS(ロケーションAPI)モニター △
  - GPSログから軌跡ベクター生成
- イメージ変換
  - 斜方眼イメージの一括変換
  - マルチページイメージの生成
  - 統合広域イメージの生成
  - 統合広域イメージツール
  - 統合広域イメージの図法変換
  - MrSID/ECWイメージファイルの分割
  - イメージの統合・再構成
- 測地成果変換
  - 測地成果2000対応変換(連続一括処理)
  - 測地成果2000対応変換 バックアップファイルのリネーム
  - 地殻変動による座標・標高補正(連続一括処理)
- プロジェクト
  - プロジェクトの外部ファイルの相対(絶対)パス設定
  - リビジョンマネージャー
  - 登簿プロジェクトの生成
  - プロジェクトの照合
- 印刷(MMLは外)
- 印刷プレビュー(※V, D, S)
- プリンターの設定
- プリンター設定の登録
- システム環境
  - システム環境設定
  - リレーション起動のオプション設定 ○
  - アカウント制御のポリシー設定
  - アカウントリストの管理・更新
  - ユーザーモード(アカウント)の変更
  - 個人情報保護フィールドのポリシー設定
  - マスターパスワードの設定
- システムプロジェクト設定
- 最近使ったイメージファイル
- 最近使った標高メッシュファイル
- 最近使ったスクリプトファイル
- 最近使ったデータベースファイル
- 最近使ったプロジェクトファイル ○
- 最近使ったファイル履歴をクリアー ○
- アプリケーションの終了

表示 (S P P)
- 全体表示(※V, I, M, G)
- 拡大(※V, I, M, G)
- 縮小(※V, I, M, G)
- センタリング(※V, I)
- 移動(※V, I, M)
- ルーペ拡大表示(※V, I)
- ルーペウィンドウ(※V, I)
- 再描画(※V, G)
- ツールバー
  - メインメニューバー
  - ツールバー
    - メインツールバー
    - ウィンドウツールバー
    - ベクターメインツールバー
    - ベクタービューツールバー
    - ベクター作図ツールバー
    - ベクター選択ツールバー
    - クイックシェイプツールバー
    - データベースツールバー
    - イメージ編集ツールバー
    - スクリプトエディタツールバー
    - 標高メッシュツールバー
    - 3Dアニメーションツールバー
    - 新規データ作成ツールバー
    - ベクターメインツールバー2
    - ベクター作図ツールバー2
    - ベクターツールツールバー
    - システムツールツールバー
    - ユーザーメニューツールバー
- プロジェクトワークスペース(※GL以外)
- インデックスマップ(※GL以外)

- ズームバー(※GL以外)
- 地理院地図ビューアー(※GL以外)
- Bing Maps バー(※GL以外)
- クイックバー(※GL以外)
- 第2-5クイックバー(※GL以外)
  - クイックバー2～5
  - HTMLメニューバー(※GL以外)
  - HTMLバー(※GL以外)
  - HTMLバー1～4
  - アウトプットバー(※GL以外)
  - コマンドラインバー(※GL以外)
  - コマンドヒストリーバー(※GL以外)
  - タスクメニューバー(※GL以外)
- ステータスバー

編集 (S P P)
- 前回処理の取り消し(※V, I, M, G)
- 取り消し処理のリスト(※V, I, M, G)
- 取り消し処理を取り消し(※V, I, M, G)
- 取り消し処理を取り消しのリスト(※V, I, M, G)

カスタマイズ (S P P)
- ツールバーカスタマイズ
- ツールバーカスタマイズ情報の保存
- ツールバーカスタマイズ情報の読込
- ツールバーカスタマイズのリセット
- アプリケーションメニューのカスタマイズ
- ショートコマンドの設定
- アクセラレータキーのカスタマイズ
- クイックバーの設定
- 第2-5クイックバーの設定
  - 第2～5クイックバーの設定
- クイックバー(汎用)ファイルの設定
- HTMLメニューバーの設定
- HTMLバーの設定
- ユーザーメニューの定義
- タスクメニューバーの定義

ウィンドウ (S P P)
- 新しいウィンドウを開く
- 重ねて表示
- 上下に並べて表示
- 左右に並べて表示
- 分割(※V, I, M)
- ウィンドウ分割の解除(※V, I, M)
- アイコンの整列
- ウィンドウ名

ヘルプ (S P P)
- トピック検索
- マプコンホームページ内検索
- 独立HTMLファイルの優先使用
- 照会・障害の報告
- 最新版の検索
- スナップショット機能の設定
- スナップショットファイル
- バージョン情報

ベクター

ファイル (S P P)
- リンク情報を名前をつけて保存※SPのみ ○
- リンク情報をメールで送信※SPのみ ○
- すべて上書き保存
- バックアップ保存
- エクスポート(p.22参照)
- システムツール
  - 広域イメージ
    - 広域イメージツール
    - 経緯度座標から直角座標へ
    - 直角座標から経緯度座標へ
    - 経緯度座標からUTM座標へ
    - UTM座標から経緯度座標へ

設定 (S P P)
- プロジェクトエキスパート
- 要素指定により前景レイヤー選択
- レイヤーエキスパート
- レイヤー描画設定
- 座標系の変更
- 図郭の変更
- 測地成果2000対応変換
- 地殻変動による座標・標高補正
- プロジェクトの挿他制御
  - 挿他制御なし
  - 挿他制御あり、外部読み出し許可
  - 挿他制御あり、外部読み出し不許可
- プロジェクトファイル群のパス設定
- 外部ファイルデータの再読み込み
- レイヤーフォルダ単位の分割保存
- 表示モード
  - 1つ前の表示モード
  - 1つ後の表示モード
- 表示領域連動プロジェクトの設定
- 地理院タイル等表示設定
- 地理院タイルを広域イメージに登録
- 現在の表示領域の地理院ベクトルタイルデータを取得
  - 道路中心線
  - 鉄道中心線
  - 河川中心線
  - 基準点
  - 単写真情報
  - 2万5千分十地形図郭
  - 基盤地図情報(基本項目)
  - 基盤地図情報(数値標高モデル5mメッシュ 航空レーザ測量)(一部地域)
  - 基盤地図情報(数値標高モデル10mメッシュ 地形図の等高線)
- 領域指定でプロジェクトの切り出し ○
- プロジェクトの2重化
  - プロジェクトのコピーを生成
  - 同一特性プロジェクトを生成
  - プロジェクトの2重化(詳細設定)
- プロジェクトの併合
- テンプレートからプロジェクト環境の初期化
- 個人情報保護フィールドの処理

表示 (S P P)
- 画面表示
  - エリアマップ表示
  - 回転表示(画面上指定)
  - 縮尺設定
  - 座標で表示中心位置設定
  - メッシュコード、DM図葉コード領域
  - 回転表示
  - 前の表示領域
  - 後の表示領域
  - エラー箇所の巡回表示
  - 選択ベクターの巡回表示
  - 次の巡回表示
  - 前の巡回表示
  - エラー箇所の巡回アニメーション
  - 選択ベクターの巡回アニメーション
  - 前景レイヤデータ領域表示
  - 全レイヤデータ領域表示
  - 選択データ領域表示
  - 全レイヤー選択データ領域表示
- ブックマーク
  - ブックマークのリスト
  - ブックマークの追加
  - ブックマークの追加2(常駐)
  - ブックマークのファイルへの保存
  - ブックマークの整理
  - ブックマークの巡回アニメーション
  - 現在の領域を記録(エリアログ)
  - このビュー独自の表示モード設定
  - 表示領域連動ビューの設定
  - ビュー番号表示
- ツールウィンドウ
  - スクロールバー
  - スケールバー
  - コンパスバー
  - ズームボックスビュー
  - レイヤーシフトビュー
  - 背景ピクチャーの移動、拡大・縮小
- その他のウィンドウ
  - パースビューバー
  - ジオコーディング検索ウィンドウ

印刷 (S P P)
- ウィンドウズプリンター印刷設定
- ビットマップ出力設定
- 外部フォーマット出力設定
- 印刷設定登録・呼び出し
- プロジェクトから統合広域イメージ生成
- ウィンドウズプリンター印刷モード
- ビットマップ出力モード
- 外部フォーマット出力モード
- 印刷枠調整(縮尺固定)
- 印刷枠調整(出力サイズ固定)
- 印刷枠調整(現在の表示位置に移動)

整飾プロジェクトプレビュー
- 整飾プロジェクトプレビュー設定
- 拡大
- 縮小
- センタリング
- 移動
- 回転
- 表示領域を現在の印刷枠に移動
- 印刷プレビュー
- イメージにて印刷プレビュー
- 印刷実行
- 連続印刷
- 矩形ポリゴン指定による連続印刷
- 矩形ポリゴン隣接情報転記
- 印刷枠のメッシュポリゴン生成
- クイック印刷

作図 (S P P)
- 補間点操作
- 補間点操作(ダブリアーク対応)
- アーク補間点削除(領域指定)
- ノード結合解除
- アーク追加
- アーク削除
- アーク分割
- アーク反転
- アーク移動・複写
- アクセグメント移動
- アーク部分作図編集

アーク作図・編集
- ポリゴン追加(アーク追加、ポリゴン追従生成)
- アーク追加(フリーハンドで作図)
- アーク回転
- アーク連結移動
- アーク延伸・トリム
- アーク面取り
- アーク面取り2
- アーク面取り3
- ジャンプ線
- 長方形アーク
- 多角形アーク
- 直角アーク
- スプラインアーク
- 円・円弧
- 楕円
- 垂線アーク
- 平行アーク
- 方向指定角によりアーク追加
- アークオフセット追加
- 文字列アーク作図
- アークの曲線あてはめ編集
- 特殊線作図
- 背景アーク部分コピー作図
- 指定アークレイヤー間移動・コピー
- 指定ポイントレイヤー間移動・コピー
- ポイント処理
- ポイント削除
- 注記処理
- シンボル処理

拡張ポイント作図
- 4点交点
- 中間点
- 線上の距離指定
- 方向角と距離
- 夾角と距離
- 2点からの距離
- 2線からの距離
- 点と線からの距離
- アーク上で距離指定
- 拡張ポイント連続作図
- チャート位置移動処理

Eシェイプ
- 作図
  - 編集
  - 一括削除
  - レイヤープロパティ
  - エクスポート
- インポート
- インポート(総入れ替え)
- Eシェイプをレイヤーデータに変換
- Eシェイプ属性照会
- Eシェイプの巡回表示
- 次のEシェイプ巡回箇所
- 前のEシェイプ巡回箇所
- Eシェイプ巡回アニメーション

クイックシェイプ
- 線と面
- 規定シンボル
- 注記(文字列)
- シンボルパターン
- クイックシェイプの修正
- クイックシェイプの一括削除
- クイックシェイプのインポート
- クイックシェイプのエクスポート
- クイックシェイプをレイヤデータに変換
- クイックシェイプの巡回表示
- 次のクイックシェイプ巡回箇所
- 前のクイックシェイプ巡回箇所
- クイックシェイプの巡回アニメーション
- 位置情報付きJPEGファイルの取り込み
- 正規化基準点処理

オーダー変更
- アークオーダー変更
- ノードオーダー変更
- ポリゴンオーダー変更
- ポイントオーダー変更
- 作図時の属性ウィンドウ
- スナップ設定

編集 (S P P)
- 表示画面のハードコピー(領域指定)
- 表示画面を印刷・画像データとして保存(領域指定)

貼り付け
- クリップボードからベクターデータ
- クリップボードからイメージ
- クリップボードからメタファイル
- ファイルからイメージ
- ファイルからメタファイル
- ファイルからパレット(凡例)
- ファイルからプロジェクト
- ファイルからデータベース(NDV)
- 他のプロジェクトの取り込み
- 他のプロジェクトのビュー
- データベースビュー
- スケールバー
- コンパスバー
- 連動型パレット(凡例)

Z値
- 個別Z値付与
- 一括Z値付与
- アークZ値付与(等高線)
- Z値内挿補間
- 内部属性・Z値転記
- ポイントからのZ値付与
- TIN、標高メッシュからのZ値付与
- アーク勾配算出

レイヤー
- 図郭をデータ領域に変更
- レイヤー2重化
- 同一特性レイヤーの生成
- 同一特性レイヤーの生成(選択アーク・ポリゴン・ポイントをコピー)
- 同一特性レイヤーの生成(選択アーク・ポイントを切り取り)
- 併合・連結
- 分割
- 属性による分割
- 矩形ポリゴンによる分割
- 接合調整
- 回転・鏡像反転
- 回転・伸縮・移動調整
- 全アーク削除
- 全ポイント削除
- 位置座標を指定解像度で丸め
- レイヤーパック
- ベクターデータの座標テキスト変換
- ベクター要素存在範囲の矩形ポリゴン生成
- エラー、強調フラグ点をレイヤーポイントに変換

正規化
- 正規化座標変換
- 図郭でクリッピング
- 図郭アークの生成
- 正規化基準点を図郭に生成
- 正規化基準点処理
- 全正規化基準点削除
- 正規化基準点の交換
- ベクターデータの合わせ込み変換
- ベクターデータの合わせ込み変換2

選択編集
- 切り取り
- コピー
- レイヤ間移動・コピー
- アーク・ポイント移動・コピー
- アーク・ポイント回転
- アーク・ポイント削除
- アーク方向反転
- アーク伸縮・回転
- アーク延伸・トリム
- アーク方向整列
- 選択ノードへアーク方向整列
- アーク分割(指定間隔)
- アーク長補正
- アーク連結平行アーク生成
- アーク幾何変形(外接長方形制御)
- アーク幾何変形(正規化基準点制御)
- アークの曲線あてはめ情報を削除
- アークの曲線あてはめ情報(円、円弧)の中心にポイント生成
- ポイント文字列分解
- アーク・ポリゴンセグメント夾角算出

編集作図
- アーク連結ノードの削除
- アーク補間点から連結ノードの生成
- 連結(結合)ノードを端点ノードに変換
- アーク平滑化
- アーク直角補正
- 自動結合
- 道路・河川等開口部の自動結線(結合)ノード間自動結合
- レイヤー間自動接合
- レイヤー間データ合わせ込み
- アークセグメント分割・補間点追加
- アーク分割(アーク長の制限)
- アーク分割(補間点数制限)
- アークを大圏コースに変換
- アークから扇形ポリゴンの生成
- アークをポイント位置へ伸縮
- ポイントをアークとへ移動
- ポリゴンクリッピング・アークの間断
- アーク・ノードからポイント生成
- ポイントからノード生成
- ポイントからアーク補間点移動・生成
- 方眼アークの生成
- ポリゴン構成アークの方向整列
- 文字列マスクポリゴンの生成
- 文字列引き出し線アークの生成
- 文字ボックス引き出し線の調整
- ポイントベクターシンボルからマスク生成
- 街区からの分割道路ポリゴン生成
- 座標テキストデータによる位置修正
- 同一属性要素間アーク作図

背景イメージ編集
- 背景イメージをベクター変換
- 背景イメージ境界ポリゴンのベクター変換
- 背景イメージをポリゴンで切り出し
- 背景イメージの領域クリアー
- 背景イメージのシュードベクターフィルター
- 背景イメージの文字認識
- イメージデータの合わせ込み変換
- 背景イメージの座標補正
- 背景ピクチャーイメージの座標補正
- 背景イメージ、ピクチャーの座標編集モード
- 背景イメージ、ピクチャーの座標付き保存

交点・ダブリアーク
- ダブリアークの検査
- 交点の検出
- 接続不良箇所の検出
- ダブリノードの検査
- 交点ノード生成、ダブリアーク削除
- ダブリポイント削除
- 文字列とアークの交差検査

位相一貫性のチェック
- アーク代表点
  - アーク代表点を移動
  - 選択アーク代表点を初期化
  - アーク代表点を全て初期化
  - 選択ポイントからアーク代表点設定

ユニオン
- ユニオン生成・解除
  - 選択アークからユニオン生成
  - 選択ノードからユニオン生成
  - 選択ポリゴンからユニオン生成
  - 選択ポイントからユニオン生成
  - アーク指定でユニオン生成
  - ノード指定でユニオン生成
  - ポリゴン指定でユニオン生成
  - ポイント指定でユニオン生成
  - アーク指定でユニオン解除
  - ノード指定でユニオン解除
  - ポリゴン指定でユニオン解除
  - ポイント指定でユニオン解除
  - ポリゴン境界線からユニオン生成
- 属性によるユニオン生成

パイロット要素の選定・解除
- アークユニオンのパイロット
- ノードユニオンのパイロット
- ポリゴンユニオンのパイロット
- ポイントユニオンのパイロット
- 最大長アークをパイロットに
- 最大面積ポリゴンをパイロットに

選択要素をパイロットに
- 選択アークをパイロットに
- 選択ノードをパイロットに
- 選択ポリゴンをパイロットに
- 選択ポイントをパイロットに

ユニオン特殊選択
- 連結しているアークのユニオンを選択
- 隣接しないポリゴンのユニオンを選択
- 選択ユニオン解除
- すべてのユニオン解除

ポリゴン処理
- ポリゴン生成
- メッシュポリゴン生成
- ポリゴン追加生成

ポリゴン中心点
- ポリゴン中心点移動
- ポリゴン中心点処理
- ポリゴンからポイント生成
- ポイントからポリゴンへ属性転記
- ポリゴンオーバーレイ
- ポリゴン等高線探索
- ポリゴンイネーブル・ディスエーブル設定
- ディスエーブルポリゴンを別レイヤーへ転記
- 選択子ポリゴンを一階層上位へ
- ポリゴン構造破棄

ポリゴン合併
- ポリゴン合併
- ポリゴン合併(1アークt ポリゴン対応)
- 図郭線で分割された1アークt ポリゴンの合併前処理
- ポリゴン合併(属性)
- ポリゴン合併・分割一括処理
- すべてのポリゴンの合併ポリゴンレイヤー生成

ポリゴン分割
- ポリゴン分割
- ポリゴン分割(1アークt ポリゴン対応)
- ポリゴン平行面積分割
- ポリゴン垂直面積分割
- ポリゴン平行距離分割
- ポリゴン平行分割
- ポリゴン垂直分割
- ポリゴン点分割

ポリゴン外周抽出
- 合併ポリゴン外周抽出
- 選択ポリゴン外周抽出

アーク・トポロジー
- 1アーク・1ポリゴン構造レイヤ生成
- 1アーク・1ポリゴンのオーダー設定
- 1アーク・1ポリゴンから構造化ポリゴン生成
- 包含関係のみ構造化レイヤー生成
- 非構造化ポリゴンの切り出し
- ポリゴン属性のメッシュ変換
- ポリゴン存在範囲の矩形ポリゴン生成

メッシュ
- メッシュをポイントに変換
- メッシュをポリゴンに変換
- 標高メッシュから変換

図法変換
- 経緯度座標からUTM座標
- 経緯度座標からメルカトル図法
- メルカトル図法から経緯度座標
- 経緯度座標から ランベルト正角円錐図法への変換
- 経緯度座標から方位図への変換
- 経緯度座標から直角座標へ
- 直角・UTM座標から経緯度座標へ
- 直角座標系の「系」の変換

TINと標高メッシュ
- TINレイヤーの生成
- 標高メッシュからTINレイヤーの生成
- 標高メッシュの領域切り出し
- TINレイヤーからベクタレイヤーの生成
- ベクタレイヤーからTINレイヤーの生成
- TINレイヤーから標高メッシュの生成
- TINレイヤーから等高線の生成
- TINレイヤーをファイルへ保存
- TINレイヤーをファイルから読み込み
- 格子ポイントから標高メッシュの生成
- 標高メッシュから格子ポイントデータの生成
- 標高メッシュから等高線の生成
- TIN切り取り
- ブレークラインの生成
- TIN結合
- 地理院地図標高タイルデータの取り込み
- 地理院地図標高タイルデータの取り込み(Zoomレベル=14固定)

ポリゴンハースイメージ生成
- エラー強調フラグのクリアー ○
- アーク・ノード構造検査 ○

選択 (S P P)
- 個別選択
  - アーク選択
  - ノード選択
  - ポリゴン選択
  - ポイント選択
  - 選択ポリゴンから隣接ポリゴン(アーク共有)
  - 選択ポリゴンから隣接ポリゴン(ノード共有)
  - 選択ポリゴンから構成アーク
  - 選択アークから構成ポリゴン
  - 選択アークから交差するアーク
  - 選択要素の所属ユニオン全体を選択
  - 領域検索して選択
  - 特殊選択
  - バッファー選択
- マルチ選択
- 固有属性選択
- 属性選択
  - アーク属性選択
  - ノード属性選択
  - ポリゴン属性選択
  - ポイント属性選択
  - 左右ポリゴン属性同一アークの選択
- 全選択反転
  - アーク全選択反転
  - ノード全選択反転
  - ポリゴン全選択反転
  - ポイント全選択反転
  - すべて選択反転
- 全選択
  - アーク全選択
  - ノード全選択
  - ポリゴン全選択
  - ポイント全選択
  - すべて選択
- エラーフラグを転記
- 選択状態転記(レイヤー内)
- 選択状態転記(レイヤー間)
- 選択解除
  - アーク選択解除
  - ノード選択解除
  - ポリゴン選択解除
  - ポイント選択解除
  - バッファー表示解除
  - すべて選択解除
  - すべてレイヤーの選択解除
- 選択情報
- 選択ベクターのみ表示
- 選択ベクター(前景レイヤー)のみ表示
- 選択ベクターのみ表示の解除
- 選択ベクターに隣立て
- 選択ベクター位置にポイント生成
- 選択状態の内部DB自動転記

属性 (S P P)
- 属性照会
  - アーク属性照会
  - ノード属性照会
  - ポリゴン属性照会
  - ポイント属性照会
  - メッシュ属性照会
  - ポリゴンマルチレイヤ属性照会
  - 属性照会(自動判定)
- 属性ウィンドウ表示
  - アーク属性ウィンドウ
  - ノード属性ウィンドウ
  - ポリゴン属性ウィンドウ
  - ポイント属性ウィンドウ
  - メッシュテーブル属性ウィンドウ
  - 属性ウィンドウの更新
- 属性検索
- 全データ検索
- 属性付与
  - アーク属性付与
  - ノード属性付与
  - ポリゴン属性付与
  - ポイント属性付与
  - 選択要素をすべて初期値にセット
  - 選択要素へ一括属性付与
  - 全レイヤー選択要素へ一括属性付与
- 属性付与テーブルDB生成
  - アーク属性付与テーブルDB生成
  - ノード属性付与テーブルDB生成
  - ポリゴン属性付与テーブルDB生成
  - ポイント属性付与テーブルDB生成
- フィールド結合
  - アーク属性フィールド結合
  - ノード属性フィールド結合
  - ポリゴン属性フィールド結合
  - ポイント属性フィールド結合
- 初期値の設定
- 自動附番
- 属性置換
- トリガー計算フィールドの再計算
- 文字列、シンボルの一括回転
- 固有属性転記
- 属性転記(ポリゴン・アーク間)
- 属性転記(レイヤー内)
- 属性転記(レイヤー間)
- ポリゴンオーバーラップ率の転記

逆ジオコーディングによるポイントへの住所転記
- ポイントからの属性転記
- アークから隣接ポイントへの属性転記
- ポイント属性からアーク(矢印)生成
- 描画キーの検査
- 結合アーク間属性一致検査
- 外部アプリ通知

データベースリンク
- リンクデータの転記
- リンクキーの再附番
- リンクキーの整合検査
- リンクインデックス
- 選択データのリンク先検査

ツール (S P P)
- 図上計測
  - 図上計測(距離と面積)
  - 図上計測プロパティ
  - 図上計測(距離と勾配)
  - 図上計測(垂線距離)
  - 図上計測(距離 アーク作図)
  - 任意位置座標のピックアップ
  - 指定位置の住所等照会
  - 指定位置の座標等照会
- アーク代表点での幅員算出

中心線作図
- 中心線作図一括処理
- 中心線作図対話処理

表示領域検索
- 表示領域の図郭コード等の算出
- 表示領域をGoogleEarth で閲覧
- 表示領域をBingMaps で閲覧
- 表示中心付近をGoogleMaps で閲覧
- 表示中心付近をストリートビュー(GoogleMaps)で閲覧
- 表示中心付近を Yahoo! 地図で閲覧
- 表示中心付近を地理院地図で閲覧

領域検索・通知
- 領域検索・集計
- 領域検索マークのクリアー
- 領域検索マーク等をレイヤーデータに変換
- レイヤー間比較・変化分抽出
- プロジェクト間接合チェック
- バッファー生成
- ポイント群から凸包ポリゴン生成
- 一筆(畦地)ポリゴンデータの切り出し

断面図・縦断図
- 図上計測(断面図)
- 図上計測(断面図)軌跡のクリアー
- 選択アークから断面図作成
- 選択アークから断面図生成(マルチライン)
- 選択アークネットワーク(マルチ)から断面図作成

断面図作成プロパティ
- アーク縦断図の生成
- アーク縦横断解析
- 方向ベクターアーク生成
- 傾斜パス(林道等)ルート選定
- ポリゴン体積算出

空間統計解析
- カーネル密度推定法による密度図生成
- ボロノイ分割図生成
- ポリゴンオーバーレイによる面積クロス集計
- ポリゴンオーバーレイによる面積按分集計
- ポリゴンオーバーレイによるクロスリスト出力
- ポリゴン・背景イメージヒストグラムオーバーレイ
- ポリゴン包含ポイント集計
- ランダムポイントからのメッシュ生成
- 等高線と標高点の妥当性検査
- ベクターモーフィング
- ポリゴンランダムフィル(4色定理)

ネットワーク解析
- 2点間最短経路
- 指定位置から選択ノード最短経路
- 指定ノードから全ノード間最短距離
- 孤立アークの検出
- 相互距離計算(直線距離)
- 相互距離計算(ネットワーク最短経路)
- ネットワーク到達位置解析(距離指定)
- ネットワーク最短到達領域解析(ネットワーク領域分割)
- ネットワーク到達解析(指定ノードまで)
- ネットワーク到達解析(新水シミュレーション)
- セールスマン巡回問題解析

広域ネットワーク検索
- 最短ルート検索
- 巡回ルート検索
- 指定距離内到達点検索
- 検索マーカー・強調ルートのクリアー

標高メッシュ効果・解析
- 鳥瞰図
- 段彩陰影図
- 可視・不可視マップ
- 可視・不可視マップ(路線集成)
- 傾斜量図
- 傾斜区分(段彩図)
- 傾斜区分(ランキング)
- 傾斜区分ランキング出力
- 傾斜数値出力
- 傾斜方向ベクトルレイヤー生成
- 接峰面・接谷面
- 集水面
- フィルター・地形解析
- 浸水想定ベース地図作成(地盤高)
- 浸水想定ベース地図作成(浸水高)
- STL(Stereolithography)形式ファイル出力
- クイック3D表示
- ブラウザー(WebGL)で3Dビュー

想定整形値の生成
- 想定整形値の生成 個別処理
- 想定整形値の生成 一括処理

3D(OpenGL)
- 3Dプロジェクトの作成
- 3Dアニメーション作成
- 3Dファイル読み込み
- 3Dプロジェクトを開く

描画パラメーター
- ポリゴングラデーション描画カラーの生成
- ポリゴンカラーブラシの生成
- 凡例プロジェクト作成

画像ファイル
- JPEG ファイル(属性フィールド)への位置座標付与
- 矩形ポリゴンから画像図郭座標付与
- 画像ファイル(属性フィールド)から背景ピクチャーへ変換

UAV 撮影コース設計

拡張機能 (S P P)
- 統合品質管理
  - 位相一貫性のチェック
  - 基本データ構造検査
  - データベース構造検査
  - 高さデータ構造検査
  - データ統計情報
  - 品質管理表生成

3DOpenGL

ファイル (S P P)
- 登録パラメータの読み込み ○
- 登録パラメータの保存 ○
- エクスポート
  - VRML
  - STL
- クリップボードに貼り付け ○
- イメージ出力
  - 単イメージ出力 ○
  - 統合広域イメージ出力

設定 (S P P)
- プロジェクトエキスパート
- 照明
- 描画パラメーター
- システム描画パラメーター
- 背景
- TIN 描画
- カメラ
- クラウドポイント(3D スキャナーデータ)
- 環境

表示 (S P P)
- ブックマーク
  - ブックマークのリスト
  - ブックマークの追加
  - ブックマークの編集
  - ブックマークのファイルへの保存
  - ブックマークのファイルからの読み込み
  - ブックマークの巡回アニメーション
- 座標値
- マウス動作
  - 視点移動
  - 目標点移動
  - 平行移動
  - 視点距離移動
  - カメラ回転
- 3D ムーブバー

編集 (S P P)
- データの再生成
- 登録パラメータの編集
  - 現在の登録パラメーター
  - 登録パラメーターファイル

選択 (S P P)
- 選択解除
- 選択転記
  - ベクタから GL へ
  - GL からベクタへ

属性 (S P P)
- 属性照会
  - アーク属性照会
  - ノード属性照会
  - ポリゴン属性照会
  - ポイント属性照会
  - 属性照会(自動判定)
- 属性検索

アニメーション (S P P)
- レイヤ読み込み
- レイヤ設定
- 再生設定
- 再生ダイアログ
- 再生
- 一時停止
- 停止
- テキスト位置設定
- アニメーションエクスポート

ツール (S P P)
- クラウドポイント
  - クラウドポイントプロジェクト作成
  - クラウドポイント転記
  - 図上計測(距離)
  - 図上計測プロパティ
  - サーフェイス作成設定
  - サーフェイス読み込み
  - サーフェイス保存
- 正規化
  - 基準点設定
  - 実行

データベース

ファイル (S P P)
- 開く ○
  - ndv, mdb, csv, dbf, xls, accdb, ndvzz, ndvex, mde, xlsx, accde
- 名前を付けて保存
  - ndv, ndvzz, csv, txt, mdb, accdb, xls, xlsx, xml, dbf, ndvex, zip

エクスポート
- ADO でのエクスポート
- ODBC でのエクスポート
- クリップボードへのコピー
- メタファイルへのエクスポート
- Excel ファイルへのエクスポート
- HTML ファイルへのエクスポート

縮小印刷設定
- 縮小なし(100%)
- 縮小 90%/80%/70%/60%/50%

表示 (S P P)
- 表示幅の最適化
- カード形式
- 選択されたレコードのみ表示
- 空白セルの強調

設定 (S P P)
- データベースの定義
- 初期値の設定
- データベース定義の整合検査
- レコードの選択解除
- レコードの選択状態反転
- 編集されたレコードを選択
- トリガー計算フィールドの再計算 ○
- ウィンドウ表示フィールドの設定
- 編集禁止モード
- 外部 DB リンクプロパティ
- リンクされた DB を最新に更新(再読み込み)
- リンクされた DB の修正結果を元 DB に反映

レコード (S P P)
- 新しいレコード
- 新しいレコード(詳細指定)
- レコードの複製
- レコードの削除
- レコードの削除(詳細指定)
- 選択レコードの削除
- 現在のレコードを初期値に設定
- レコードの並び替え
- 検索
- 他の DB リストからの検索
- 重複レコードの検索

レコード選択
- マークのセット
- 次のマーク
- 前のマーク
- マークをすべて解除

編集 (S P P)
- 自動附番
- グラデーションカラーの作成
- フィールド間転記
- フィールド結合
- フィールド照合・転記
- レコード結合
- ランキング

演算、集計、分析
- 演算
- 集計・統計処理
- クロス集計
- 回帰分析
- Excel 上にグラフ作成
- 注記属性の一括編集
- 注記属性の分解

BLOB データ等
- BLOB データの展開
- BLOB データの管理
- ボイスメモを文字列に変換

データベースリンク
- フィールドのデータベースリンク化
- フィールドのデータベースリンク解除
- フィールドの辞書データベースへのリンク対応

座標系
- 座標データのベクター変換
- 座標データのショートベクター変換
- 図郭コードのベクタ(ポリゴン)変換
- 座標データの変換
- メッシュデータのベクタ(ポリゴン)変換
- 座標データの変換(測地成果 2000)

セルの初期化

検索・置換
- セルの検索
- 次のセルの検索
- 次のセルの検索(逆方向)
- セルの置換
- フィールド検索
- フィールド次の検索
- フィールド次の検索(逆方向)
- フィールド置換

文字列複数置換
- 文字列変換
- ユニオン単位でのセル編集

リンク
- データベースリンク
  - リンクデータの転記
  - リンクキーの再附番
  - リンクキーの整合検査
  - リンクインデックス
  - 選択レコードのリンク先検索
- レイアウトビュー起動
- リレーション起動
- リンクデータベース呼び出し
- 選択状態をベクターへ転記
- 選択状態をベクターから転記

ベクター検索
- 選択ベクターデータ検索
- 選択ベクターデータ検索(該当データのみ表示)
- 現在のレコードのベクターデータ検索
- (前景レイヤー対象)選択ベクターデータ検索
- (前景レイヤー対象)選択ベクターデータ検索(該当データのみ表示)
- (前景レイヤー対象)現在のレコードのベクターデータ検索
- (広域ベクター も対象)選択ベクターデータ検索
- (広域ベクター も対象)選択ベクターデータ検索(該当データのみ表示)
- (広域ベクター も対象)現在のレコードのベクターデータ検索
- 現在のレコードの自動追従ベクタデータ検索
- ベクター属性ウィンドウ更新
- ベクター属性ウィンドウ表示
- ジオコーディング
  - 住所フィールドの分解・整形
  - ジオコーディングによるポイント生成

イメージ

ファイル (S P P)
- 開く
  - nai, bmp, pcx, tif, jpg, png, tga, ecw, sid, jp2, j2k, gif
- 名前を付けて保存
  - nai, bmp, pcx, tif, jpg, png, tga, jp2, j2k, hdp, naiex, ecw, pdf
- ワールドファイルを作成

表示 (S P P)
- 1：1 表示

ズーム設定
- 10%/25%/50%/75%/100%/150%/200%/300%/500%/1000%
- 4 分割表示
- 分割解除
- 4 分割表示状態の保存

編集 (S P P)
- イメージ編集外部プログラム
- イメージ編集外部プログラムの登録
- 外部編集プログラムの起動
- 外部更新データ取得
- イメージの領域クリアー
- ショートベクタフィルター
- 全体をクリップボードにコピー
- 切り出し
- ポリゴン切り出し、コピー
- 貼り付け
- 分割
- 結合
- 時計回り 90 度回転
- 反時計回り 90 度回転
- 180 度回転
- 回転(角度指定)
- X 軸対称反転
- Y 軸対称反転
- 画像サイズの変更
- 画像のプロパティ
- 選択レコードの削除
- 現在のレコードを初期値に設定
- レコードの並び替え
- 検索
- 他の DB リストからの検索
- 重複レコードの検索

レコード選択
- マークのセット
- 次のマーク
- 前のマーク
- マークをすべて解除

編集 (S P P)
- 自動附番
- グラデーションカラーの作成
- フィールド間転記
- フィールド結合
- フィールド照合・転記
- レコード結合
- ランキング

演算、集計、分析
- 演算
- 集計・統計処理
- クロス集計
- 回帰分析
- Excel 上にグラフ作成
- 注記属性の一括編集
- 注記属性の分解

BLOB データ等
- BLOB データの展開
- BLOB データの管理
- ボイスメモを文字列に変換

データベースリンク
- フィールドのデータベースリンク化
- フィールドのデータベースリンク解除
- フィールドの辞書データベースへのリンク対応

座標系
- 座標データのベクター変換
- 座標データのショートベクター変換
- 図郭コードのベクタ(ポリゴン)変換
- 座標データの変換
- メッシュデータのベクタ(ポリゴン)変換
- 座標データの変換(測地成果 2000)

セルの初期化

検索・置換
- セルの検索
- 次のセルの検索
- 次のセルの検索(逆方向)
- セルの置換
- フィールド検索
- フィールド次の検索
- フィールド次の検索(逆方向)
- フィールド置換

文字列複数置換
- 文字列変換
- ユニオン単位でのセル編集

リンク
- データベースリンク
  - リンクデータの転記
  - リンクキーの再附番
  - リンクキーの整合検査
  - リンクインデックス
  - 選択レコードのリンク先検索
- レイアウトビュー起動
- リレーション起動
- リンクデータベース呼び出し
- 選択状態をベクターへ転記
- 選択状態をベクターから転記

ベクター検索
- 選択ベクターデータ検索
- 選択ベクターデータ検索(該当データのみ表示)
- 現在のレコードのベクターデータ検索
- (前景レイヤー対象)選択ベクターデータ検索
- (前景レイヤー対象)選択ベクターデータ検索(該当データのみ表示)
- (前景レイヤー対象)現在のレコードのベクターデータ検索
- (広域ベクター も対象)選択ベクターデータ検索
- (広域ベクター も対象)選択ベクターデータ検索(該当データのみ表示)
- (広域ベクター も対象)現在の